

平成 20 年度
上田市地域公共交通活性化・再生総合事業

第 3 回協議会 資料

平成 21 年 3 月
上田市公共交通活性化協議会

目次

1. 地域公共交通総合連携計画の事業全体概要.....	1
1-1. 事業全体概要表	1
1-2. 事業全体概要図	3
2. 連携計画による平成 20 年度事業の概要.....	5
3. 平成 20 年度事業の事業評価.....	9
4. 事業評価による改善方策の検討.....	14
5. 平成 21 年度事業展開.....	21
6. 事業実施総括表.....	25

資料編

1. 地域公共交通総合連携計画の事業全体概要

1-1. 事業全体概要表

【その1】

基本方針	施策の内容	具体的対応		施策実施主体	
		施策対象	内容		
鉄道との連携を図る公共交通体系の構築	鉄道駅を起終点に変更（朝夕は変更無）	室賀線	■起点を小泉バス停に変更及びダイヤ変更（朝夕は上田駅直通）	千曲バス	
		武石線	■起点を大屋駅に変更及びダイヤ変更（朝夕の一部は上田駅直通） ■昼間の運行便はデマンド交通へ移行する。	上田市 千曲バス	
誰もが公平に利用できる公共交通体系の構築	幹線バス路線ダイヤを、基本サービスレベルを満たすよう変更	菅平高原線	■19:50上田駅発の便を設定する。	上電バス	
		真田線	■しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	上電バス	
		鹿教湯線	■朝、上田駅方面への便の統合 ■16:05丸子駅前発を鹿教湯車庫発に変更	千曲バス	
		青木線	■しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	千曲バス	
		長久保線	■ダイヤ変更（朝の時刻変更、午後早い時間帯に便を設定）	JRバス関東	
		再編対象路線、幹線バス路線以外のバス路線ダイヤを、基本サービスレベルを満たすように変更	県道川西線	■ダイヤ変更	上田市 千曲バス
		塩田線	■中心市街地への通勤通学が可能なようにダイヤ変更	上電バス	
		西丸子線	■平井寺地区にバス停を新設 ■丸子への通学利用の利便性を高めるようダイヤ変更	上田市 上電バス	
		平井寺経由鹿教湯線	■15:20鹿教湯車庫発、15:10上田駅発を廃止	千曲バス	
		長野病院線	■朝の便、しなの鉄道との接続によるダイヤ変更 ■夕方、4便を増便	上電バス	
		傍陽線	■基本サービスレベルを満たすようダイヤ変更 ■入軽井沢方面、10時～11時台に1往復増便	上田市 上電バス	
		豊殿線	■基本サービスレベルの満足及びしなの鉄道との接続によるダイヤ変更	上田市 上電バス	
		桝津線	■しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	上田市 千曲バス	
		佐久上田線	■中心市街地から通勤通学で帰宅できるようにダイヤ変更	千曲バス	
		中仙道線	■しなの鉄道との接続によるダイヤ変更	上田市、立科町 東信観光バス	
		丸子線	■18時～19時台に1往復増便	上田市、立科町 東信観光バス	
		再抽出した公共交通不能地域、不便地域解消	真田本原地区サンライン沿線	■傍陽線の一部便を本原地区及びサンラインへ迂回させる	上田市 上電バス
		料金体系の適正化	オレンジバス	■オレンジバスの運行は当面現状維持	上田市 交通事業者
	効率的な公共交通体系の構築	利用率の低い路線への対応	県道川西線 長野病院線 豊殿線 中仙道線 丸子線	■「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 ■ダイヤ改善後の利用状況により「存続」「変更」「廃止」を含めた検討	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス
		車両の小型化	県道川西線 豊殿線 丸子線 中仙道線	■「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 ■該当路線の運行車両は小型車両での運行とする	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス
車両配置非効率路線への対応		県道川西線 豊殿線 丸子線 中仙道線	■「基本サービスレベル」に対応したダイヤ改善 ■配置車両数の削減	上田市 上電バス 千曲バス 東信観光バス	
既存ストックの活用		各地域	■現在運行中のショッピングセンターお買物無料巡回バスを活用 ■旅館等の宿泊施設が所有するバスを用いて、地域内におけるバス運行を検討する。	各地域他	

【その2】

基本方針	施策の内容	具体的対応		施策実施主体
		施策対象	内容	
地域づくりを支援する公共交通体系の構築	中心市街地活性化支援	市街地循環バス	■ルート及びダイヤの変更	上田市 交通事業者
	塩田地域まちづくり支援	塩田教育施設集積地域	■塩田教育施設集積地域において、大学前駅と各教育施設を結ぶシャトルバスの運行	上田市 交通事業者
	丸子地域まちづくり支援	丸子地域循環バス	■ルートの変更及びダイヤの変更	上田市 千曲バス
	真田地域まちづくり支援	ふれあいバス	■現在、途中乗降不可能なふれあいバスを途中乗降可能とした運行を検討する。	上田市
	新たな試みへの配慮	武石デマンド交通	■デマンドエリアを拡大する。 ■大屋・丸子方面への便を全て大屋駅発着とする。 ただし、依田窪病院方面は従来どおりとする。	武石商工会
		豊殿地区及び地域自主運行システムを導入する地区	■豊殿地域自主運行方式に対する行政支援制度の創設 ■地域自主運行方式導入地域に対する行政支援制度の拡大	上田市
利用者主体の公共交通体系の構築	高齢者への配慮	各バス路線	■バス料金の補助制度	上田市
		高齢者向け教室等が行われている施設と各公共交通機関	■公共交通利用促進に繋がるキャンペーン	上田市
		各公共交通機関	■高齢者運転免許自主返納支援事業	上田市
		各バス路線	■バリアフリー車両の導入	上田市 交通事業者
		各公共交通機関	■バリアフリー交通施設の整備	上田市 交通事業者
		地域拠点バス停	■バス待待ち合い施設の整備	上田市 交通事業者
	公共交通利用者への配慮	交通結節点	■交通結節点における分かりやすい案内板の設置	上田市 交通事業者
		全戸配布	■分かりやすい時刻表と路線図の提供	上田市 交通事業者
		各家庭への配布 公共施設への設置	■分かりやすい利用パターンに応じた利用方法パンフレットの提供	上田市
		市街地循環バス	■回数券・周遊券の販売	上田市 交通事業者
		大屋駅、小泉バス停	■乗り継ぎ料金制度	上田市 交通事業者
		各バス路線	■土・日・祝日のバス運行の検討	上田市 交通事業者
		市街地循環バス	■循環バスの愛称	上田市 交通事業者
		市街地循環バス 上田電鉄別所線	■車両の演出	上田市 交通事業者
		各バス路線と該当施設	■お帰り乗車券 ■買物共通バス券 ■公共交通利用でカードポイント優遇 ■娯楽健康施設のクーポン券付き乗車券 ■環境定期券 ■休日の子供料金優遇	上田市 交通事業者
	公共交通非利用者への配慮	別所線沿線で大学、研究機関が集積する塩田地区	■モビリティマネジメント	上田市 交通事業者
		中心市街地に立地する事業所等	■ノーマイカーデー	上田市 各事業所
		中心市街地に立地する事業所等	■公共交通利用者優遇制度	上田市 各事業所
		中心市街地	■パークライジング	上田市 各事業所
	観光客への配慮	上田駅と周辺観光地	■上田駅から菅平高原、湯の丸高原、美ヶ原高原、白樺高原へのサービス拡大の検討	上田市 交通事業者

1-2. 事業全体概要図

【バス路線再編案事業】

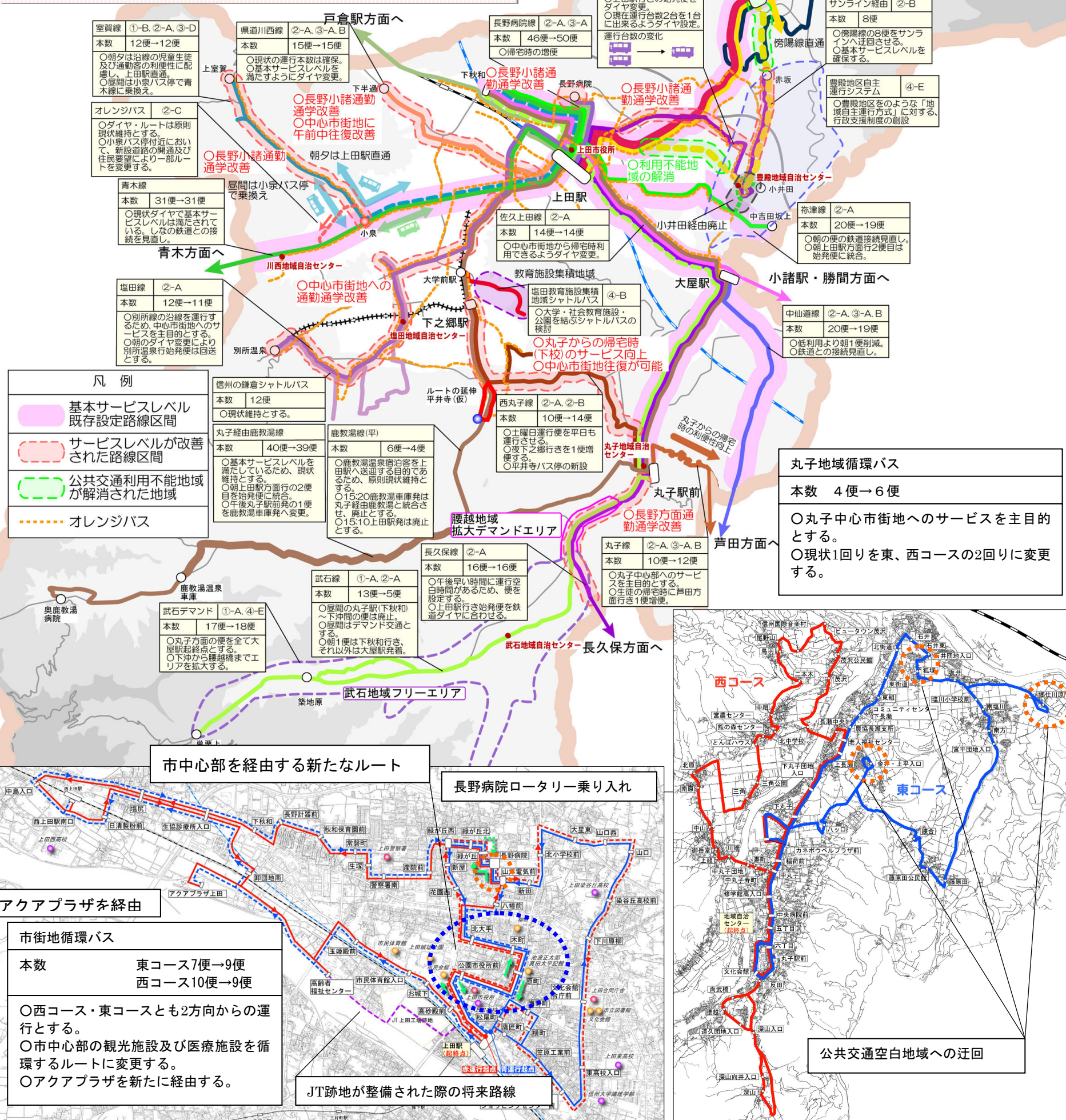
基本方針に則った改善方針

鉄道との連携を図る公共交通体系の構築	
①-A	大屋駅を起終点としたバス路線の再編
①-B	上田原駅にバス回転スペースが無い場合、小泉バス停を起終点としたバス路線の再編

誰もが公平に利用できる公共交通体系の構築	
②-A	《公共交通不便地域》:基本サービスレベルを満たすダイヤを各路線で構築 ※但し、沿線の利用状況、路線の利用目的には配慮する
②-B	《公共交通不能地域》:新規路線の設定または、路線の延伸
②-C	オレンジバスの一部ルート変更

効率的な公共交通体系の構築	
③-A	「低利用率路線」は向上策実施後、利用状況を評価した上で更なる向上策を検討
③-B	「車両小型化」は交通事業者との調整を図りつつ検討
③-C	「車両配置非効率路線」は向上策提案ダイヤにおいて可能な限り提案
③-D	室賀線、武石線を駅、バス停起終点にすることにより、混雑区間のバス運行台数削減

地域づくりを支援する公共交通体系の構築	
④-A	《中心市街地活性化支援》:市街地循環バスのルート見直しとダイヤ見直し
④-B	《塩田地域まちづくり支援》:塩田教育施設集積地域シャトルバス
④-C	《丸子地域まちづくり支援》:循環バスのルート・ダイヤ設定の見直しを検討
④-D	《真田地域まちづくり支援》:ふれあいバスの地区内バスとしての運行検討
④-E	《新たな試みへの配慮》:デマンドエリア拡大、自主運行システムの行政支援制度の創設



【バス路線再編案以外の事業】

基本方針に則った改善方策

誰もが公平に利用できる公共交通体系の構築

①-A 《料金体系の適正化》:「利用者応分負担」の原則に則り、オレンジバス料金を検討

効率的な公共交通体系の構築

②-A 《既存ストックの活用》:各地域において、利用できる施設所有バス等を活用した、地区内バスの運行や、既存運行バスにおける一般利用客の利用促進等、既存ストック活用の可能性を検討する。

地域づくりを支援する公共交通体系の構築

③-A 《新たな試みへの配慮》:地域自主運行システムの行政支援制度の創設

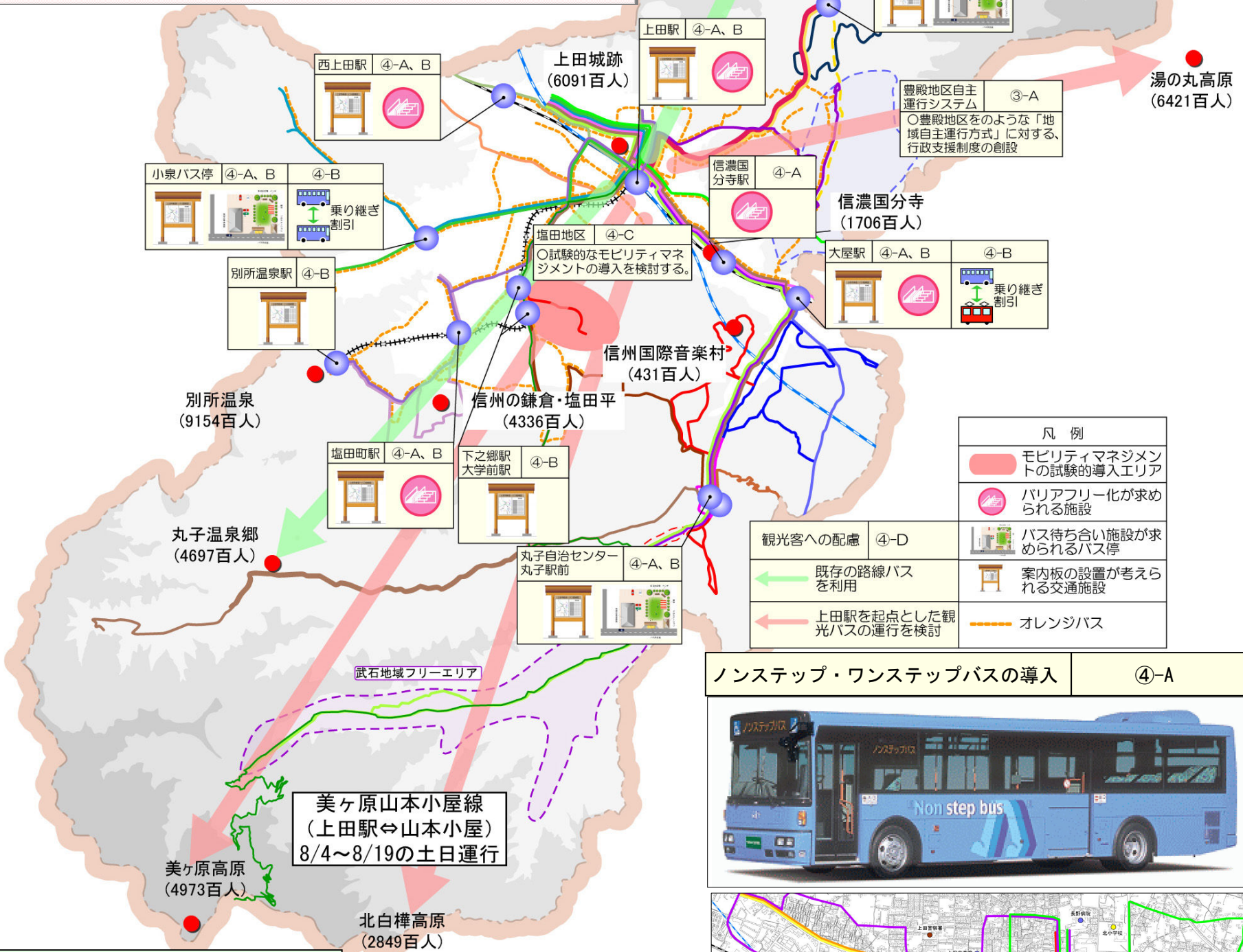
利用者主体の公共交通体系の構築

④-A 《高齢者への配慮》:高齢者に「移動のしやすさ」「分かりやすさ」を提供し、「外出機会」を支援する。

④-B 《公共交通利用者への配慮》:公共交通利用者に対して、「分かりやすさの提供」、「利用者へのインセンティブの付与」等を通じて、更なる利用者サービスの提供を図る。

④-C 《公共交通非利用者への配慮》:「自発的公共交通への転換」を図るソフト施策の導入可能性を検討する。

④-D 《観光客への配慮》:上田駅から菅平高原、湯の丸高原、美ヶ原高原、白樺高原へのサービス拡大を検討する。



その他の施策

バス料金の補助制度	・・・④-A
公共交通利用促進に繋がるキャンペーン	・・・④-A
高齢者運転免許自主返納支援事業	・・・④-A、C
わかりやすい時刻表と路線図の提供	・・・④-B
土・日・祝日のバス運行	・・・④-B
お帰り乗車券	・・・④-B、C
買い物共通バス券	・・・④-B、C
公共交通利用でカードポイント優遇	・・・④-B、C
娯楽健康施設のクーポン券付き乗車券	・・・④-B、C
環境定期券	・・・④-B、C
休日の子供料金優遇	・・・④-B、C
ノーマイカーデー	・・・④-C
公共交通利用者優遇制度	・・・④-C

循環バスの愛称検討

循環バス・別所線車両演出

例: タウンスニーカー



パークプライシング ④-C

〇中心市街地の駐車料金に運営金を上乗せすることにより、車での来街を少なくする。

現在、バス路線は無い。巡回バスにより新たにバスが利用できる地域。

(株) ウィズクルー様専用駐車場前

2. 連携計画による平成 20 年度事業の概要

(1) 上田市街地循環バス

● 目的と概要

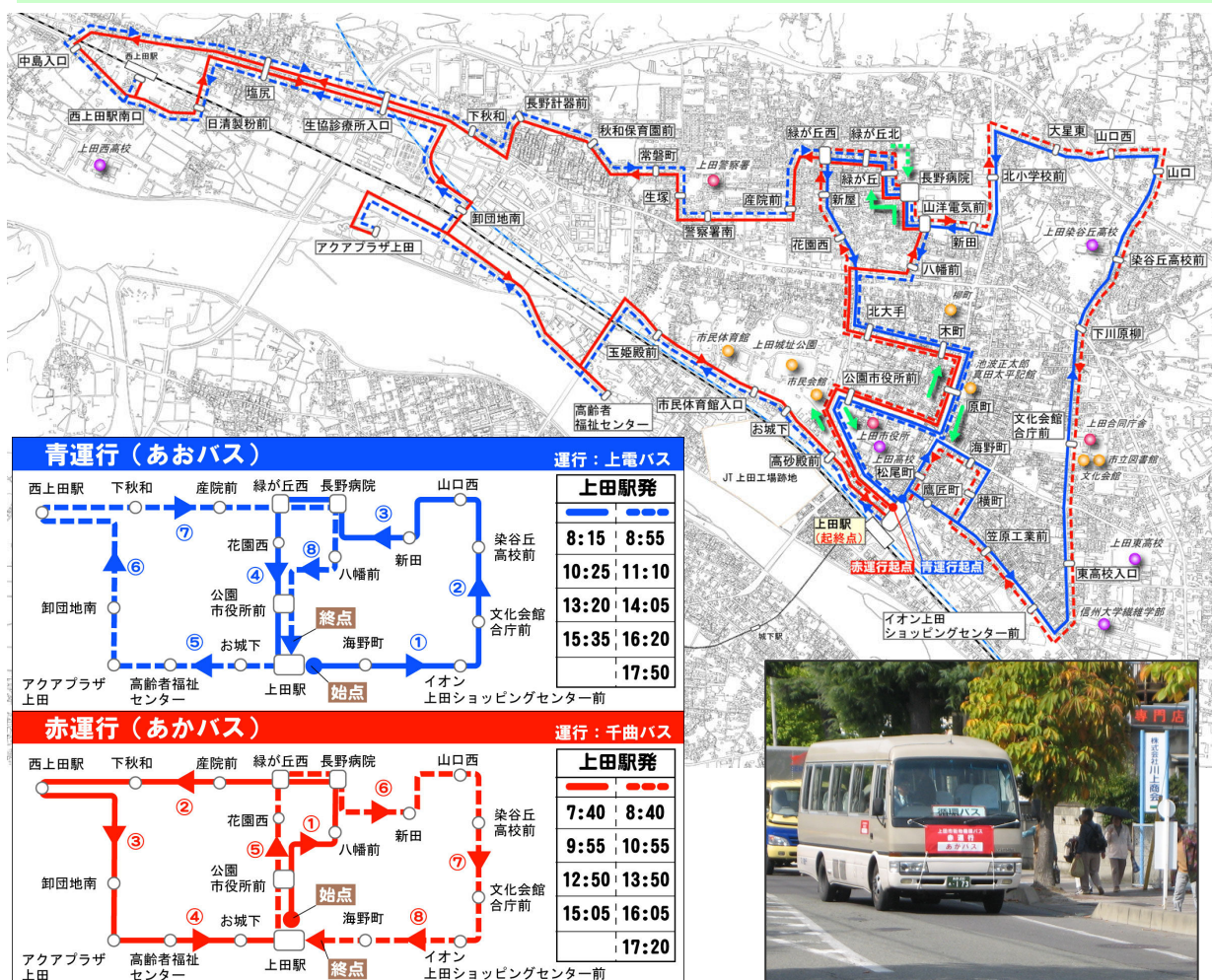
《目的》

上田中心市街地活性化支援するための「上田市街地循環バス」の実証運行

《概要》

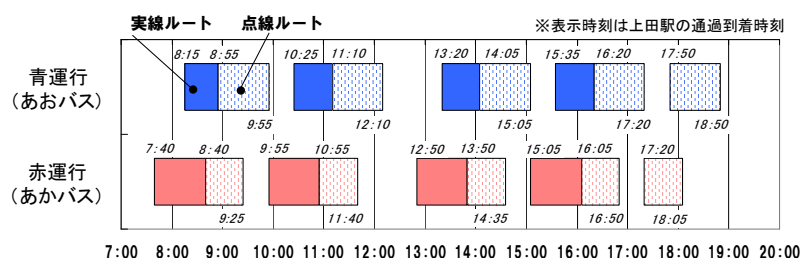
- 従来の一方向の運行から、双方向の循環運行へ変更。
- 将来の J T 跡地が整備されたとき、中心市街地との新しい人の流れを見据え、従来は東コースと西コースで分割運行していた形態を、東西一体運行とし、東地区、西地区の行き来を改善した。
- あおバス・あかバスの分かりやすい名称で運行。

● バスルート



● ダイヤと運行本数・下記ダイヤは上記路線図の実線、点線の別に対応

《ダイヤ》



《運行本数》

	単位: 便		
	東コース	西コース	合計
従来運行	7	10	17
新運行	9	9	18

(2) 丸子地域循環バス

● 目的と概要

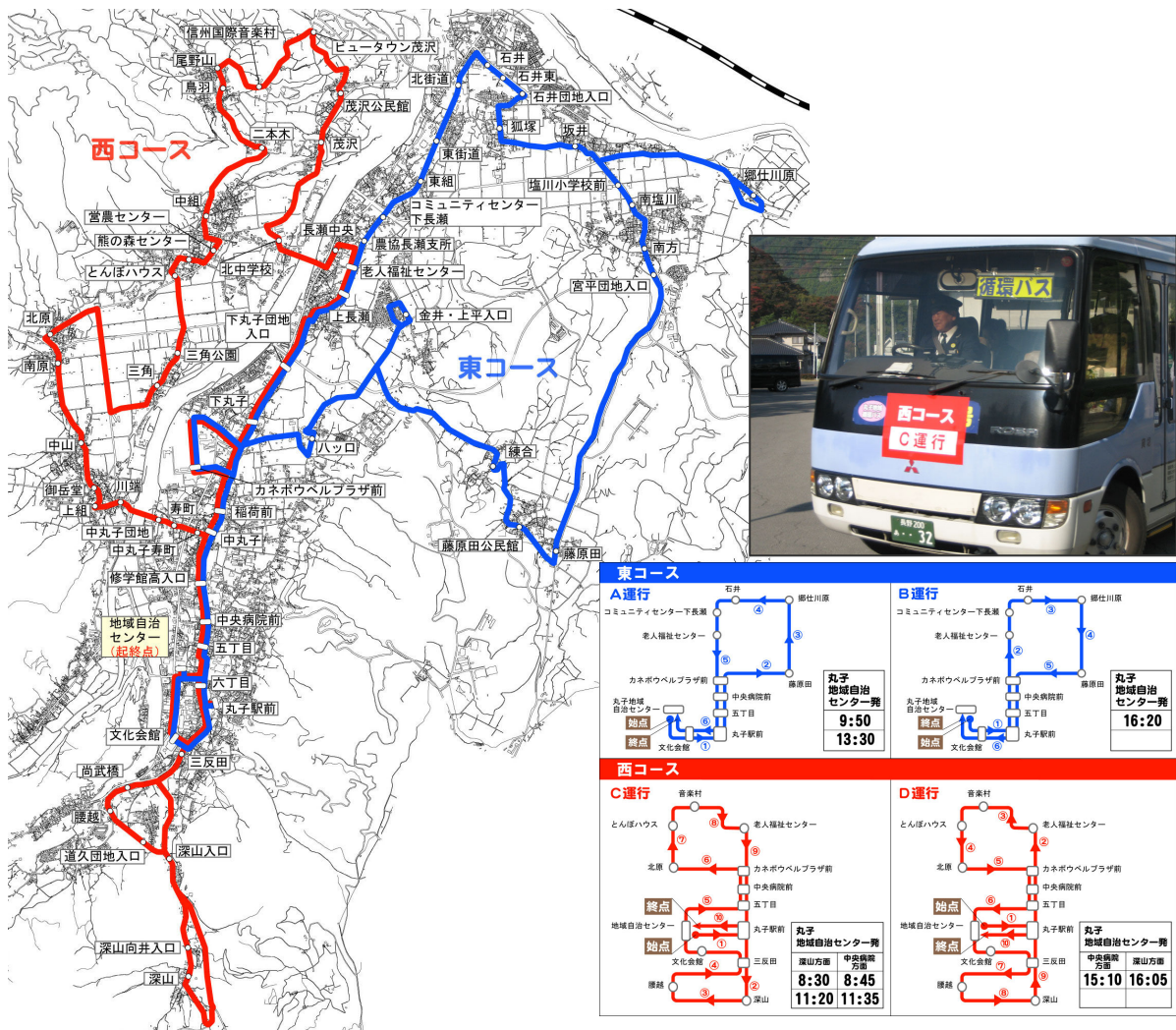
《目的》

丸子地域の中心市街地活性化を支援するための「丸子地域循環バス」の実証運行。

《概要》

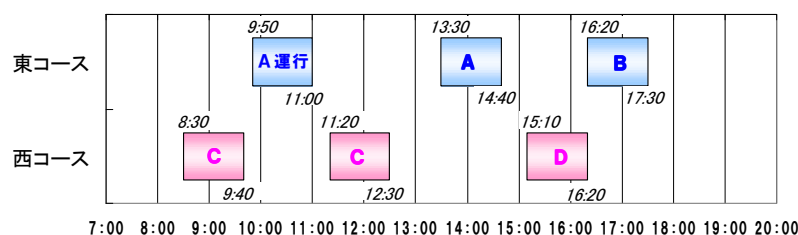
- 従来運行されていた丸子地域循環バスは広大な丸子地域を1周1便で運行していたため、利用者の乗車時間の長時間といった実態があった。それを解決するため「系統を2分割」しての運行を実施した。
- 丸子地域において公共交通空白地域があり、それらをカバーする運行経路とし、実証運行で利用実態を検証することとした。

● バスルート



● ダイアと運行本数

《ダイア》



《運行本数》

単位: 便

	東コース	西コース	合計	1周換算
従来運行			4	4
新運行	3	3	6	3

(3) 循環バスの新運行パンフレットの作成と配布

●目的と概要

《目的》

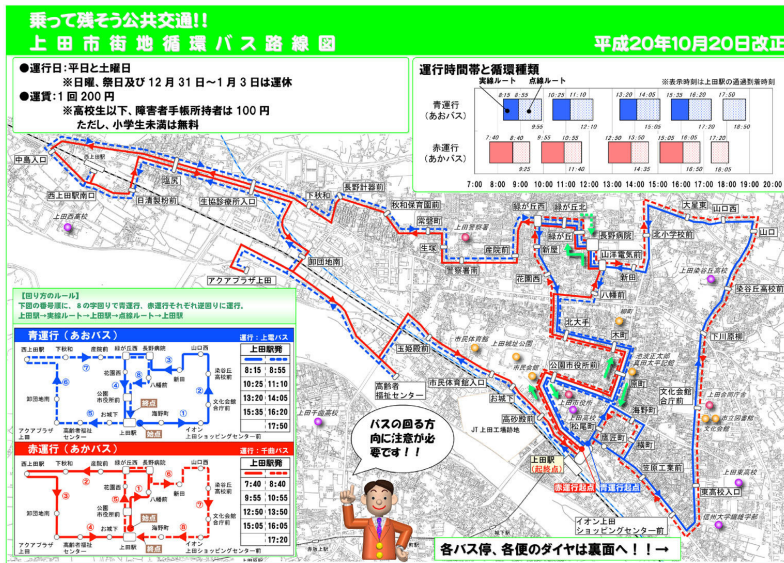
平成 20 年 10 月 20 日より新たな運行方法へ移行した「上田市街地循環バス」「丸子地域循環バス」について、運行方法の周知・PR を実施する。

《概要》

- 「上田市街地循環バス」「丸子地域循環バス」の運行概要を A 3 裏表一枚にまとめ作成する。表示内容としては、路線図、循環方法、運行時間帯、時刻表、料金を表示させることにより、1 枚であらゆる情報を分かり易く伝える。

●上田市街地循環バス パンフレット

《表面：路線図》

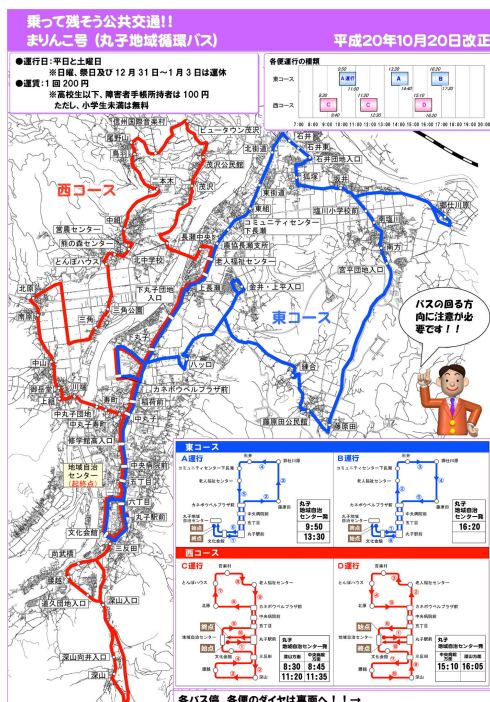


《裏面：時刻表》

時刻表		平成20年10月20日改正	
バス停	乗車	上田市街地循環バス	
		上回り	下回り
丸根駅前	7:15	7:15	7:15
丸根駅前	7:30	7:30	7:30
丸根駅前	7:45	7:45	7:45
丸根駅前	8:00	8:00	8:00
丸根駅前	8:15	8:15	8:15
丸根駅前	8:30	8:30	8:30
丸根駅前	8:45	8:45	8:45
丸根駅前	9:00	9:00	9:00
丸根駅前	9:15	9:15	9:15
丸根駅前	9:30	9:30	9:30
丸根駅前	9:45	9:45	9:45
丸根駅前	10:00	10:00	10:00
丸根駅前	10:15	10:15	10:15
丸根駅前	10:30	10:30	10:30
丸根駅前	10:45	10:45	10:45
丸根駅前	11:00	11:00	11:00
丸根駅前	11:15	11:15	11:15
丸根駅前	11:30	11:30	11:30
丸根駅前	11:45	11:45	11:45
丸根駅前	12:00	12:00	12:00
丸根駅前	12:15	12:15	12:15
丸根駅前	12:30	12:30	12:30
丸根駅前	12:45	12:45	12:45
丸根駅前	13:00	13:00	13:00
丸根駅前	13:15	13:15	13:15
丸根駅前	13:30	13:30	13:30
丸根駅前	13:45	13:45	13:45
丸根駅前	14:00	14:00	14:00
丸根駅前	14:15	14:15	14:15
丸根駅前	14:30	14:30	14:30
丸根駅前	14:45	14:45	14:45
丸根駅前	15:00	15:00	15:00
丸根駅前	15:15	15:15	15:15
丸根駅前	15:30	15:30	15:30
丸根駅前	15:45	15:45	15:45
丸根駅前	16:00	16:00	16:00
丸根駅前	16:15	16:15	16:15
丸根駅前	16:30	16:30	16:30
丸根駅前	16:45	16:45	16:45
丸根駅前	17:00	17:00	17:00
丸根駅前	17:15	17:15	17:15
丸根駅前	17:30	17:30	17:30
丸根駅前	17:45	17:45	17:45
丸根駅前	18:00	18:00	18:00
丸根駅前	18:15	18:15	18:15
丸根駅前	18:30	18:30	18:30
丸根駅前	18:45	18:45	18:45
丸根駅前	19:00	19:00	19:00
丸根駅前	19:15	19:15	19:15
丸根駅前	19:30	19:30	19:30
丸根駅前	19:45	19:45	19:45
丸根駅前	20:00	20:00	20:00

●丸子地域循環バス パンフレット

《表面：路線図》



《裏面：時刻表》

時刻表		平成20年10月20日改正	
バス停	乗車	丸子地域循環バス	
		上回り	下回り
丸根駅前	7:15	7:15	7:15
丸根駅前	7:30	7:30	7:30
丸根駅前	7:45	7:45	7:45
丸根駅前	8:00	8:00	8:00
丸根駅前	8:15	8:15	8:15
丸根駅前	8:30	8:30	8:30
丸根駅前	8:45	8:45	8:45
丸根駅前	9:00	9:00	9:00
丸根駅前	9:15	9:15	9:15
丸根駅前	9:30	9:30	9:30
丸根駅前	9:45	9:45	9:45
丸根駅前	10:00	10:00	10:00
丸根駅前	10:15	10:15	10:15
丸根駅前	10:30	10:30	10:30
丸根駅前	10:45	10:45	10:45
丸根駅前	11:00	11:00	11:00
丸根駅前	11:15	11:15	11:15
丸根駅前	11:30	11:30	11:30
丸根駅前	11:45	11:45	11:45
丸根駅前	12:00	12:00	12:00
丸根駅前	12:15	12:15	12:15
丸根駅前	12:30	12:30	12:30
丸根駅前	12:45	12:45	12:45
丸根駅前	13:00	13:00	13:00
丸根駅前	13:15	13:15	13:15
丸根駅前	13:30	13:30	13:30
丸根駅前	13:45	13:45	13:45
丸根駅前	14:00	14:00	14:00
丸根駅前	14:15	14:15	14:15
丸根駅前	14:30	14:30	14:30
丸根駅前	14:45	14:45	14:45
丸根駅前	15:00	15:00	15:00
丸根駅前	15:15	15:15	15:15
丸根駅前	15:30	15:30	15:30
丸根駅前	15:45	15:45	15:45
丸根駅前	16:00	16:00	16:00
丸根駅前	16:15	16:15	16:15
丸根駅前	16:30	16:30	16:30
丸根駅前	16:45	16:45	16:45
丸根駅前	17:00	17:00	17:00
丸根駅前	17:15	17:15	17:15
丸根駅前	17:30	17:30	17:30
丸根駅前	17:45	17:45	17:45
丸根駅前	18:00	18:00	18:00
丸根駅前	18:15	18:15	18:15
丸根駅前	18:30	18:30	18:30
丸根駅前	18:45	18:45	18:45
丸根駅前	19:00	19:00	19:00
丸根駅前	19:15	19:15	19:15
丸根駅前	19:30	19:30	19:30
丸根駅前	19:45	19:45	19:45
丸根駅前	20:00	20:00	20:00

(4) 公共交通結節点における大型案内板の設置及びバスマップの全戸配布

●目的と概要

《目的》

交通結節点に上田市内の公共交通情報が一目で分かる大型案内掲示板を設置し、公共交通利用者への分かりやすい情報提供する。

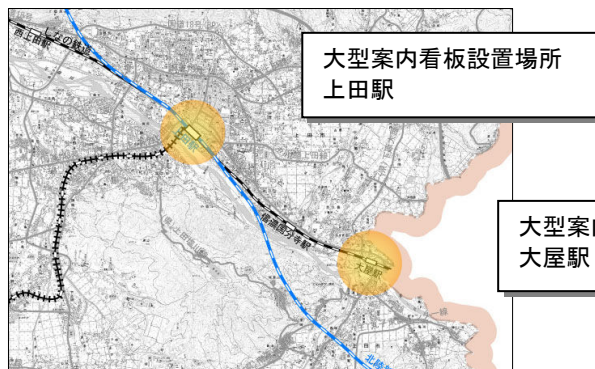
また、バス路線図と時刻表が一目で分かる「バスマップ」を作成し情報提供を行う。

《概要》

- 「上田駅」「大屋駅」を最重要な公共交通結節点と定め、上田市内の公共交通網、時刻などが分かる、大型案内掲示板を作成し設置する。なお、デザインも景観に配慮し、上田市のイメージと合うよう配慮する。
- バス路線図と時刻表が一目で分かる「バスマップ」を作成し各戸に配布する。

●位置図と案内板のイメージ

《位置図》



《案内板のイメージ》



(5) 上田電鉄別所線車両のラッピング

●目的と概要

《目的》

公共交通の利用促進においては、「なんとなく乗ってみたい」「乗るのが楽しい」といった意識を利用者の中に芽生えさせることも大切なことである。そこで、別所線の別所線利用者に「乗ってみたい」といった意識を芽生えさせ、利用促進を図る。

《概要》

- 上田電鉄別所線に新たに納入された新型車両 2 両に、原田泰治氏デザインのラッピングを施し、「自然と友だち 1 号」「自然と友だち 2 号」として運行を開始する。
- 1 号は 10 月 4 日、2 号は 12 月 25 日に運行を開始した。

●ラッピング車両の様子



3. 平成 20 年度事業の事業評価

(1) 上田市街地循環バス

●利用者数と運行経費から見た評価

- 実証運行の日利用者数は 87 人、1 便当り利用者数は 4.8 人と減少である。また利用者一人当たり経費も 30%増加しており、利用性、経済性の観点から課題が残った。
- しかし、運行を開始した 10 月からの利用動向を見ると、増加傾向であり運行形態が定着すれば利用者は増加するものと評価できる。

上田市街地循環バスにおける評価方法は、従来運行形態の場合との数値比較が可能な「1 便当り利用者数」「利用者一人当たり運行経費」また「利用者推移」を基に、評価を行う。

《従来運行と新運行での利用者数、運行経費の比較》

	実施年度	日運行本数(便)	日利用者数(人)	年間運行経費(千円)	日運行経費(千円)	1便当り利用者数(人/便)	利用者一人当たり経費(円/人)
上田市街地循環バス	H20年度(新運行)	18	87	9,485	74	4.8	851
	H19年度(従来 of 運行形態)	17	92	18,045	61	5.4	663

※運行経費＝掛かった経費－運賃収入

※新運行による総運行経費は10/20～3/31まで

※新運行経費(1日)＝単価＋燃料費

※H19年度運行経費は年間運行経費(実績値)

※新運行運賃収入は下記による。

・上田市街地循環バス＝事業者算出収入平均値×運行日数

※H19年度の日利用者数は年間利用者数実績値を元に算出した数値

※新運行による日利用者数はバス事業者調査の日利用者数を運行日数で除したもの

※上田市街地循環バスの日運行本数は従来の運行形態と合わせて、東コース、西コースを分離し、計18便とする。

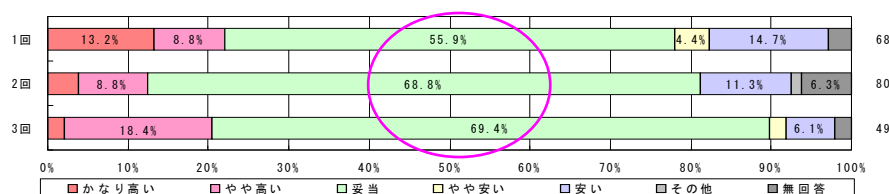
《月別利用者数前年比較》

	10 月	11 月	12 月	1 月
平成 20 年度 (人)	1,219*(6.2 人/便)	1,829(4.4 人/便)	2,108(4.7 人/便)	2,008(4.9 人/便)
平成 19 年度 (人)	2,624(5.9 人/便)	2,249(5.5 人/便)	2,165(5.3 人/便)	1,896(4.8 人/便)

※ 平成 20 年度 10 月は 20 日～31 日までのデータ

●運賃についての意向から見た評価

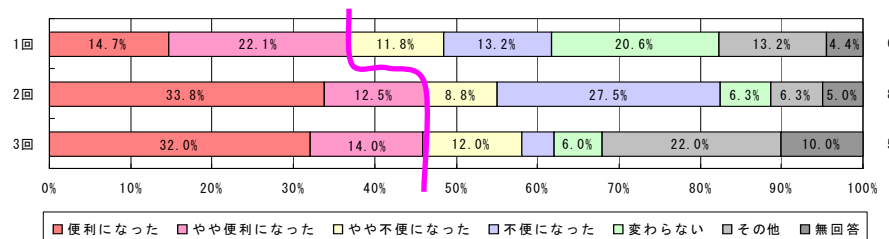
- 利用料金を区間制から一律 200 円に変更したことについては妥当が 6 割～7 割を占め料金抵抗は少ないと評価できる。



※ バス利用実態調査より

●運行方法に対する意向

- 運行方法に対しては「便利になった」の割合が高くなってきており (約 45%)、今後定着すればさらに上がる可能性があり、そのための施策が必要になる。



※ バス利用実態調査より

【実証運行により残った課題】

- 利用者数は従来に比べまだ少ないが、増加傾向であるため、更なる利用促進策、周知PR策を講じることが必要である。

(2) 丸子地域循環バス

●利用者数と運行経費から見た評価

- 実証運行における従来の運行形態と合わせた1便当り利用者数は8.7人となり、従来運行と比べると1便当りの利用者は大きく変わりは無いが、利用者一人当たり経費は約16%増加しており、これは公共交通空白地域を無くす方針で、ルートを分割し細かく集落を回ったため、経費が嵩んだ事にも起因しており、課題が残った。
- 月別利用者数前年比較では、従来運行に比べ減少している。

《従来運行と新運行での利用者数、運行経費の比較》

	実施年度	日運行 本数 (便)	日利用 者数 (人)	年間運行 経費 (千円)	日運行 経費 (千円)	1便当り 利用者数 (人/便)	利用者一人 当たり経費 (円/人)
丸子地域 循環バス	H20年度(新運行)	3	26	4,624	36	8.7	1385
	H19年度(従来の運行形態)	4	36	8,439	34	9.0	944

※ 運行経費 = 掛かった経費 - 運賃収入

※ 新運行経費(1日) = 単価 + 燃料費

※ 新運行運賃収入は下記による。

・ 上田市街地循環バス = 事業者算出収入平均値 × 運行日数

※ H19年度の日利用者数は年間利用者数実績値を元に算出した数値

※ 新運行による日利用者数はバス事業者調査の日利用者数を運行日数で除したもの

※ 丸子循環バスの日運行本数は従来の運行形態と合わせ、東コース、西コースを合わせて1便と計算し、計3便とする。

※ 新運行による総運行経費は10/20～3/31まで

※ H19年度運行経費は年間運行経費(実績値)

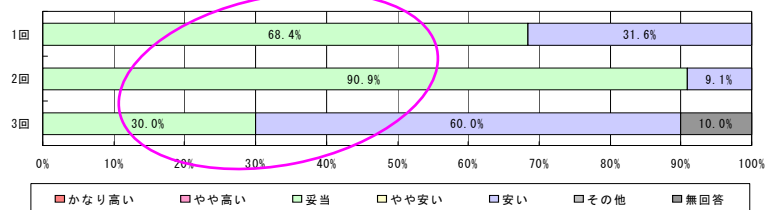
《月別利用者数前年比較》

	10月	11月	12月	1月
平成20年度(人)	361*(10.9人/便)	643(9.3人/便)	609(8.1人/便)	512(7.4人/便)
平成19年度(人)	894(10.2人/便)	723(8.6人/便)	692(8.2人/便)	578(6.9人/便)

※ 10月は20日～31日までのデータ

●運賃についての意向から見た評価

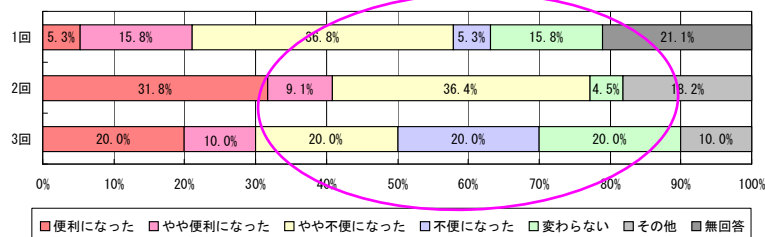
- 利用料金を区間制から一律200円に変更したことについては妥当が6割～7割を占め料金抵抗は少ないと評価できる。



※ バス利用実態調査より

●運行方法に対する意向

- 従来に比べ不便になったとの意見が約3～4割を占め、利用者数の減少と合わせると、運行形態の変更による利用者数減少の影響が大きいと考えられる。



※ バス利用実態調査より

【実証運行により残った課題】

- 新運行方法により不便になってしまった要因分析と、それを解決する改善策の検討が課題。

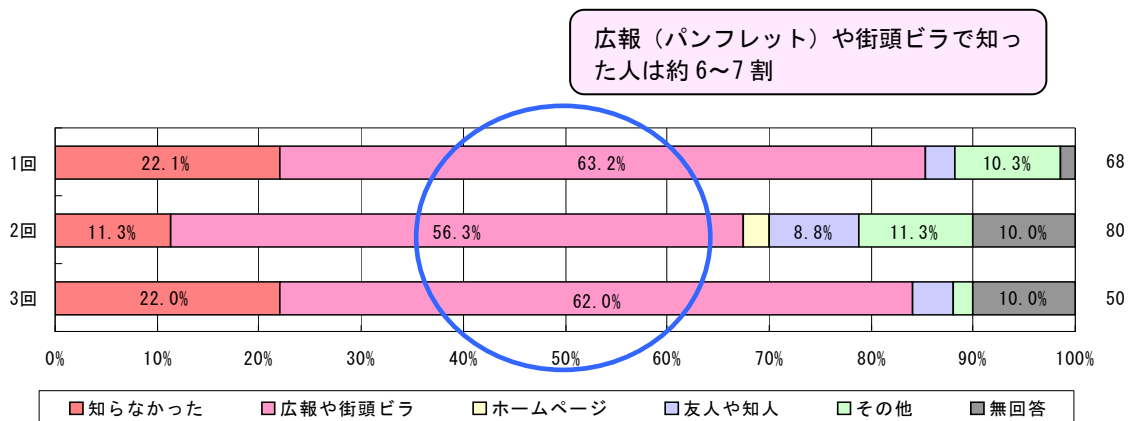
(3) 循環バスの新運行パンフレットの作成と配布

- 上田市街地循環バス、丸子地域循環バスともに、新運行の情報の取得方法で最も高い割合なのは「広報や街頭ビラ」であり、広報に同封した「パンフレット」の効果は高かったと評価できる。

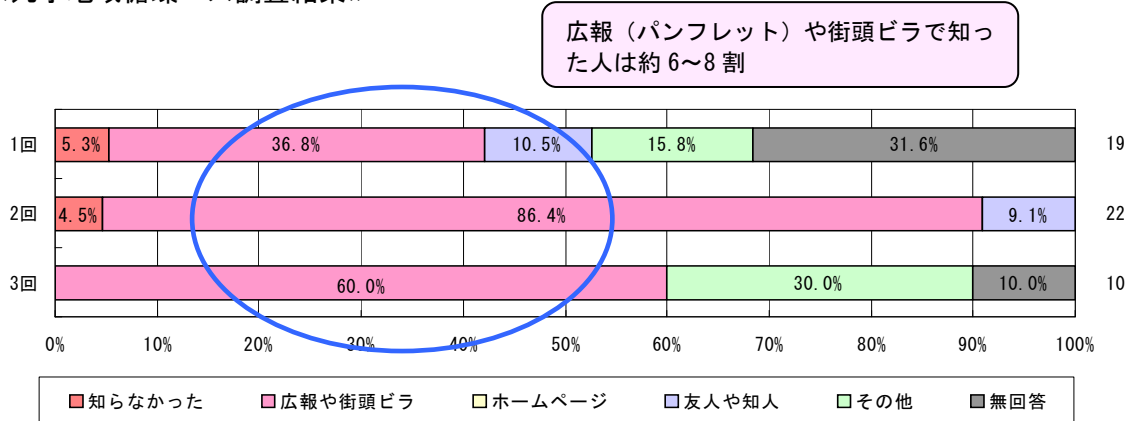
パンフレットは上田市広報に同封し、各戸へ配布を行った。バス利用者へのヒアリング調査において、「循環バスの新運行移行についての情報はどこから得たか」との質問を利用者に行っている。その結果を下記に示す。

●新運行方法の周知方法

《上田市街地循環バス調査結果》



《丸子地域循環バス調査結果》



- 循環バスダイヤ改正など、変更が生じた際、また来年度事業展開する新たなパンフレット作成など、利用促進策の一つとして、今後も継続していく事業である。

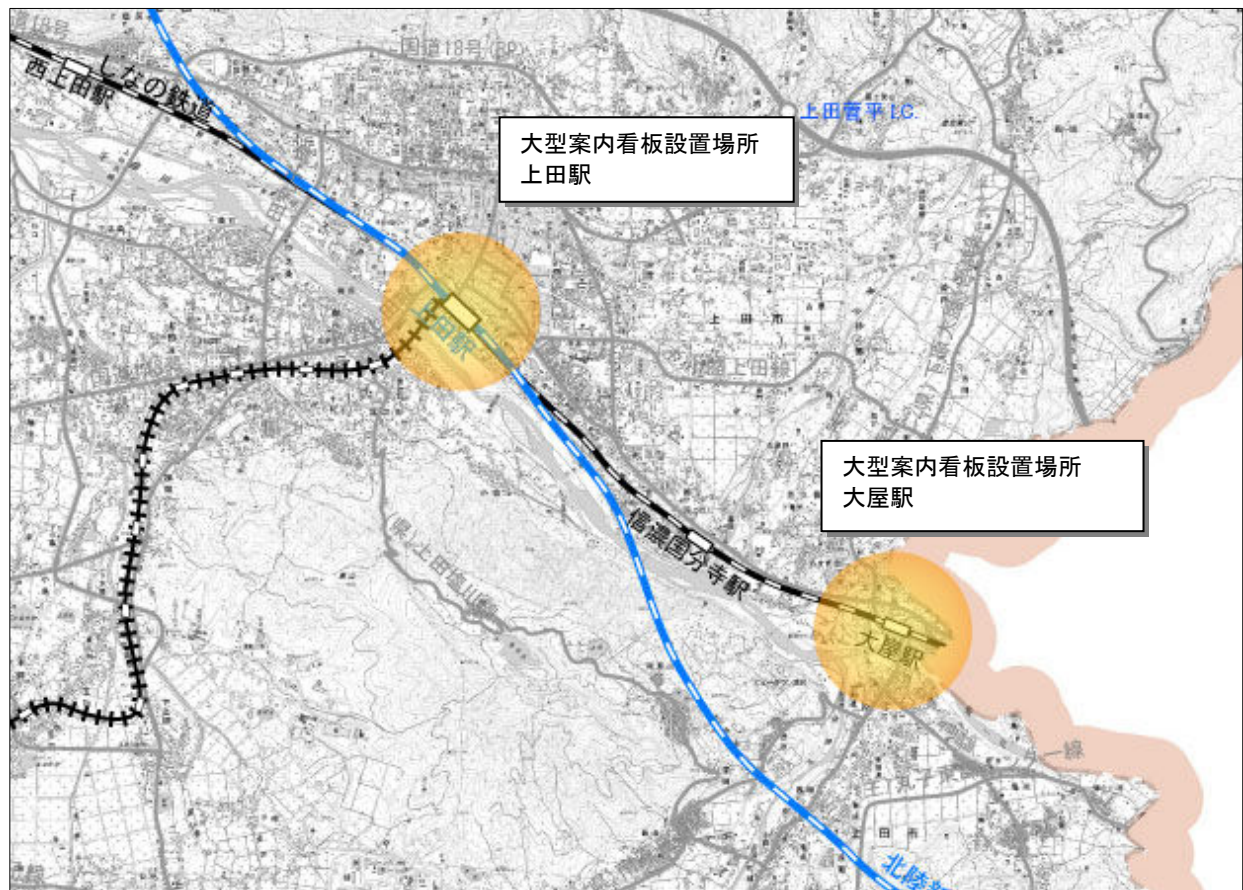
(4) 公共交通結節点における大型案内板の設置及びバスマップの各戸配布

- 公共交通結節点への大型案内板については、事業中であり、工事完了を待って来年度の事業評価を実施する

大型案内板の設置及びバスマップの各戸配布は、平成 20 年度 3 月現在において事業中であり、評価については設置が完了した後実施する。

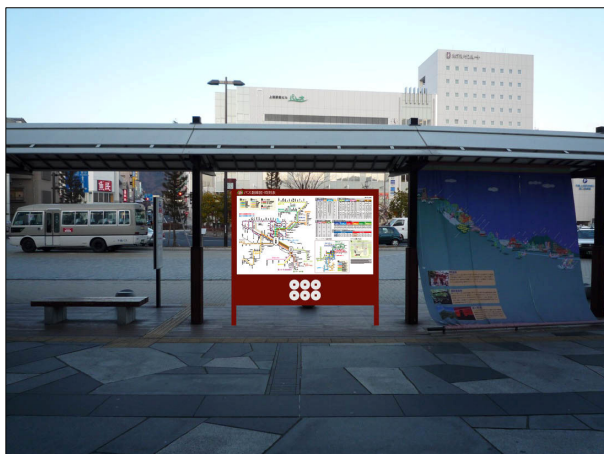
ここでは、設置箇所と大型案内板設置イメージを示す。

《設置箇所》

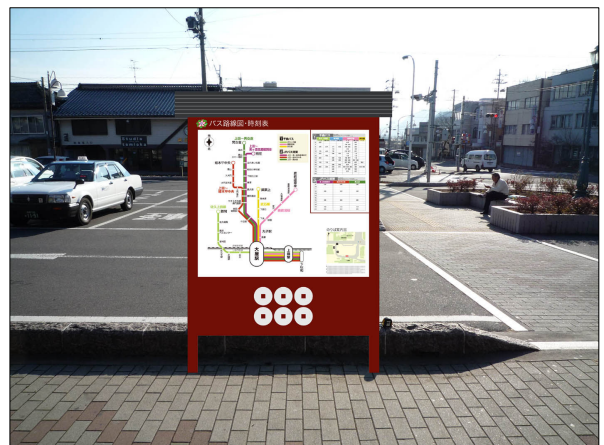


《大型案内板設置イメージ》

【上田駅】



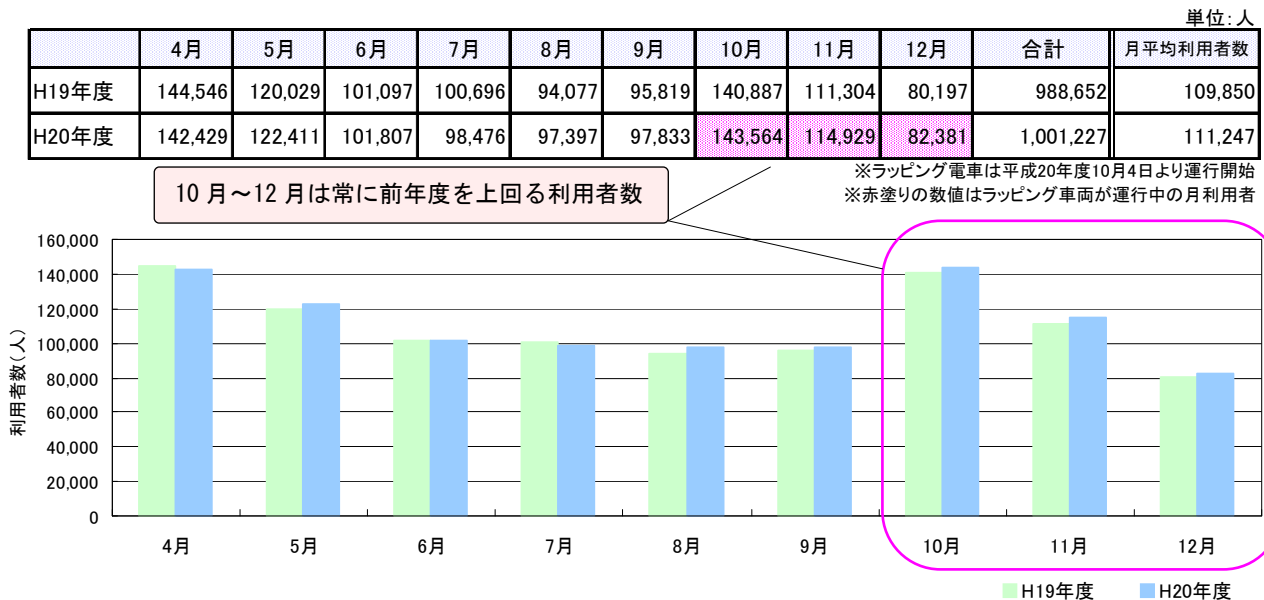
【大屋駅】



(5) 上田電鉄別所線車両のラッピング

- ラッピング車両が運行を開始した20年10月～12月の3ヶ月利用者数を見ると、19年10月～12月の3ヶ月利用者数に比べ、約3%の伸びを示しており、ラッピング車両が利用者数を上昇させた一つの要因の可能性はある。
- 車内ヒアリング調査によると約7割の利用者が「ラッピング電車によって別所線のイメージが良くなった」と回答している。また、ラッピング電車への乗車意向も「乗ってみたい」が約6割であり、車両ラッピング事業の効果はあったと評価できる。

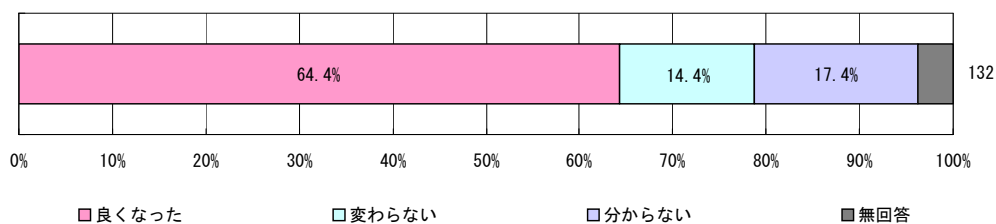
《別所線の月別利用者数の比較》



●ラッピング電車による別所線のイメージ変化

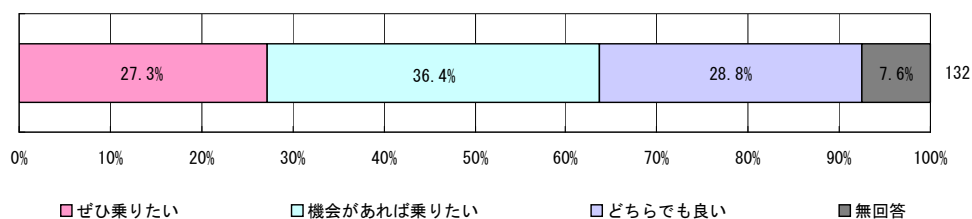
《利用者ヒアリング調査結果》

イメージは良くなったとの回答が約6割を占めた。
イメージ向上の効果はあったと考えられる。



●ラッピング電車への乗車意向

また、ラッピング電車に乗ってみたいと答えた人は6割を超えた。



- 本事業は2編成の車両へのラッピングをもって事業完了とする。

4. 事業評価による改善方策の検討

(1) 上田市街地循環バス

① 課題の整理

【課題】

- 周知・PRの徹底
- 丸子地域循環バスには回数券があることから、市街地循環バスでの料金サービス策の検討
- 利用者の要望に配慮した車両更新・ダイヤ見直し・バス停改善の可能性の見出し

《ダイヤの検証》

【山口と上田駅を結ぶダイヤ】

高いサービスレベルは確保されている。

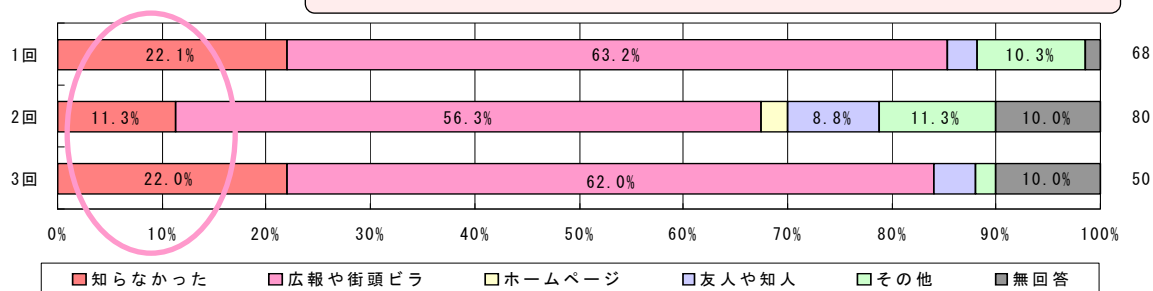
		午前				午後					便数
行き	上田駅着	8:55	9:45	11:10	11:40	14:05	14:35	16:20	16:50	18:05	9便
帰り	上田駅発	8:15	8:40	10:25	10:55	13:20	13:50	15:35	16:05	17:20	9便

【常磐町と上田駅を結ぶダイヤ】

		午前				午後					便数
行き	上田駅着	8:40	9:55	10:55	12:10	13:50	15:05	16:05	17:20	18:50	9便
帰り	上田駅発	7:40	8:55	9:55	11:10	12:50	14:05	15:05	16:20	17:50	9便

《運行方法の周知状況》

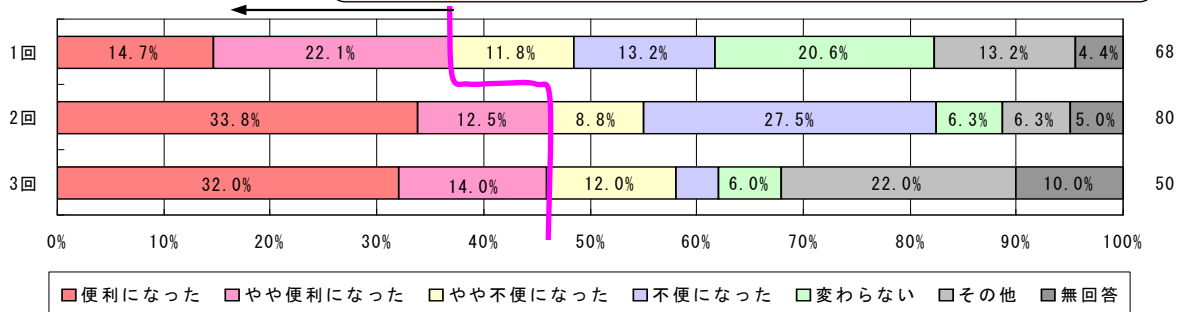
およそ2割の利用者が新運行方法について「知らなかった」と回答



※ バス利用実態調査より

《運行方法に対する意向》

1回目に比べ、時が経つにつれ、「便利になった」割合が高くなったが約2割は「不便になった」との回答である。



※ バス利用実態調査より

《利用者の声》

【運行方法について】

- 運行方法（あかバス・あおバス）はわかりづらい。
- 高齢者福祉センターの時間に合わせてもらいたい。
- 1区間でも200円は高い。

【車両について】

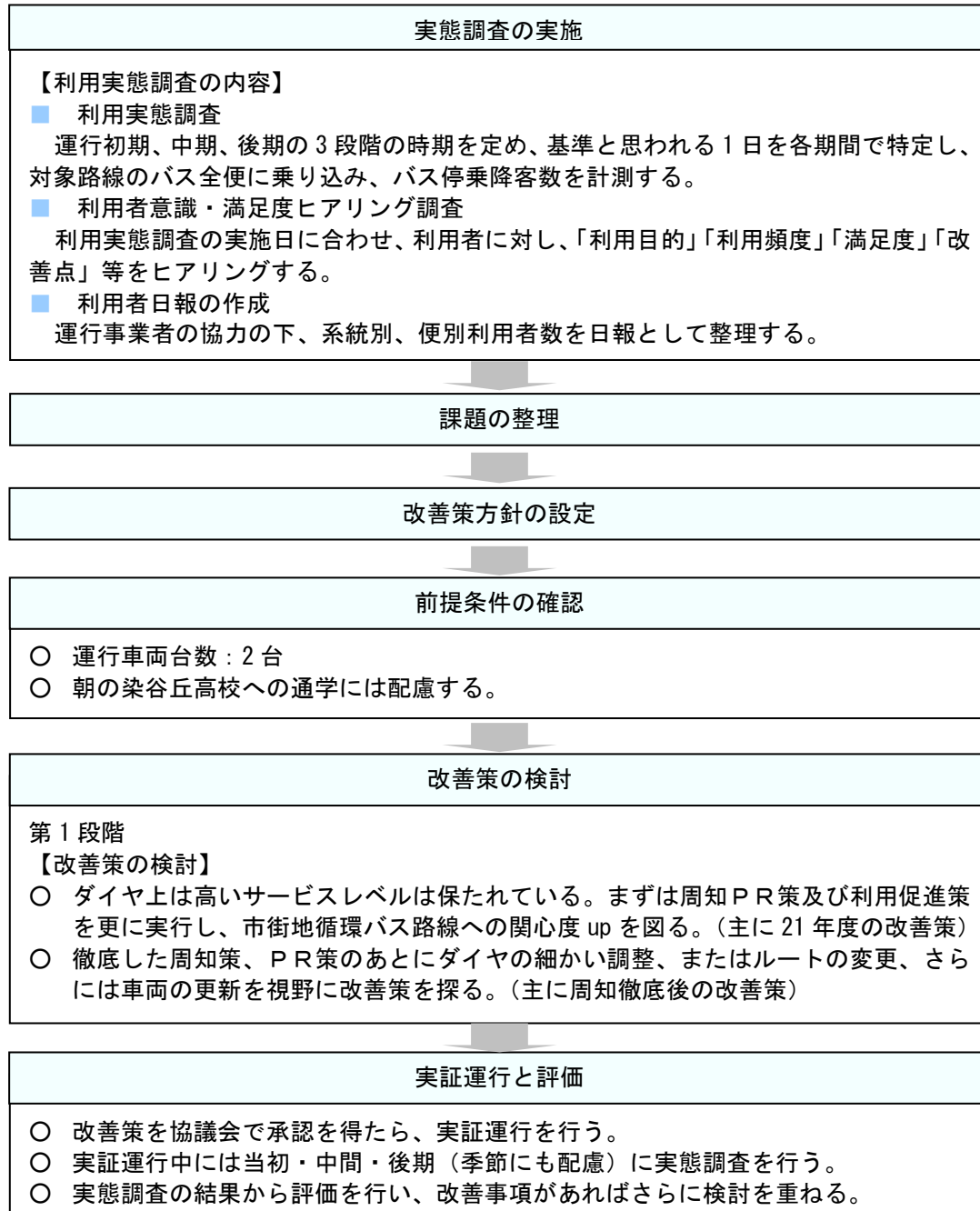
- 乗降口のステップが高く乗降しづらい。高齢者を主目的とするなら、車両にも気を使うべきである。

② 改善策方針の設定

1. 更なる周知策・PR策を打ち出し、実行する。

- ダイヤ面では高いサービスレベルは保たれている。しかし、利用者アンケート結果を見ると2割の人は運行方法の改正について「知らなかった」と回答、また「分かりづらい」との声も多く、他地区に比べ母集団は大きいため、周知が徹底すれば利用向上も見込まれることから、来年度は周知PR策及び利用促進策の更なる実行を方針とする。

③ 改善策の検討実施手順



④ 具体的な周知PR策及び利用促進策の検討

○ 市街地循環パンフレットの作成

● 目的と概要

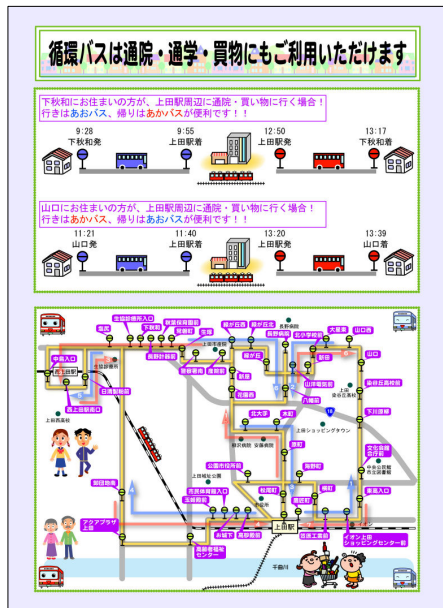
《目的と概要》

従来運行に比べ、利用者数が若干低下している市街地循環バスについて、生活版パンフレット及び観光版パンフレットを作成し、利用促進を図る。

《概要》

市街地循環バスの利用方法を日常生活の視点と観光の視点から、利用方法を提案し、それをパンフレット化して、各戸への配布、公共施設での配布、観光センターでの配布を実施し、利用促進に繋げる。なお、パンフレットは表に利用パターン、路線図を明記し、裏に時刻表を載せる。

【生活版イメージ（裏面は時刻表）】



【観光版イメージ（裏面は時刻表）】



○ 回数券・周遊券の販売

● 目的と概要

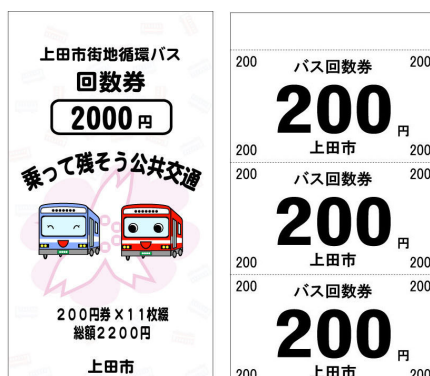
《目的》

市街地循環バスの回数券発行により、利用料金面のサービスを図り、循環バス利用促進を図る。

《概要》

市内の循環バスは、丸子地域循環バスには回数券があるが、上田地域循環バスには回数券の制度が無いのが現状である。しかし、利用者からも回数券の販売要望があり、回数券または周遊券による料金面でのサービスを付加し、利用促進に繋げる。

【回数券のイメージ】



(2) 丸子地域循環バス

① 課題の整理

【課題】

- 丸子中央病院の午前中診察時間とダイヤが合っていない
- ルート上に利用者数が極めて少ない区間があるためその対応

《利用者の声》

- 帰りの便がない。または行きと帰りの時間が空きすぎている。(5件/12件)
- 通院が不便になってしまった。(3件/12件)

《ダイヤでの検証》

【丸子中央病院へ通院する場合】

丸子中央病院外来・・・AM9:00～12:00. PM15:00～18:00

西コース

パターン	通院	午後
丸子中央病院着	1便 9:35	2便 12:25
滞在時間	(2:02)	(2:50)
丸子中央病院発	2便 11:37	3便 15:15

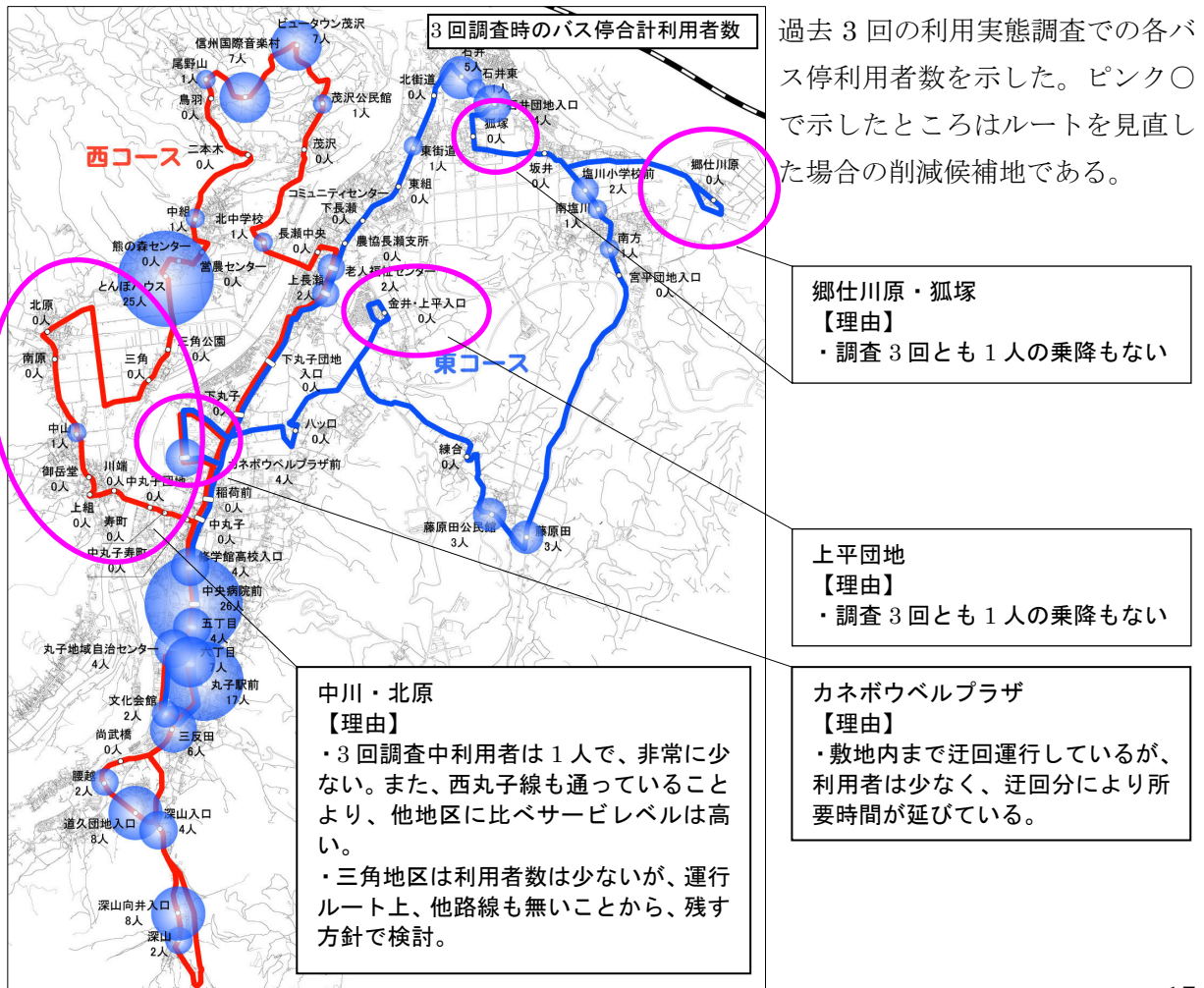
東コース

パターン	通院	午後
丸子中央病院着	1便 10:53	2便 14:33
滞在時間	(2:43)	(1:54)
丸子中央病院発	2便 13:36	3便 16:27

診察時間に間に合わない

- 西コースにおいて、通院に対するサービスはダイヤ上大きな問題はない。
- 東コースにおいて、丸子中央病院着が 10:53 であり、午前中の診察時間と合っていない問題点がある。そして、帰りが 13:36 であり、自宅着がお昼からかなり時間が経ってしまう。

《ルートの検証》



② 改善策方針の設定

1. 午前中の丸子中央病院への利便性確保

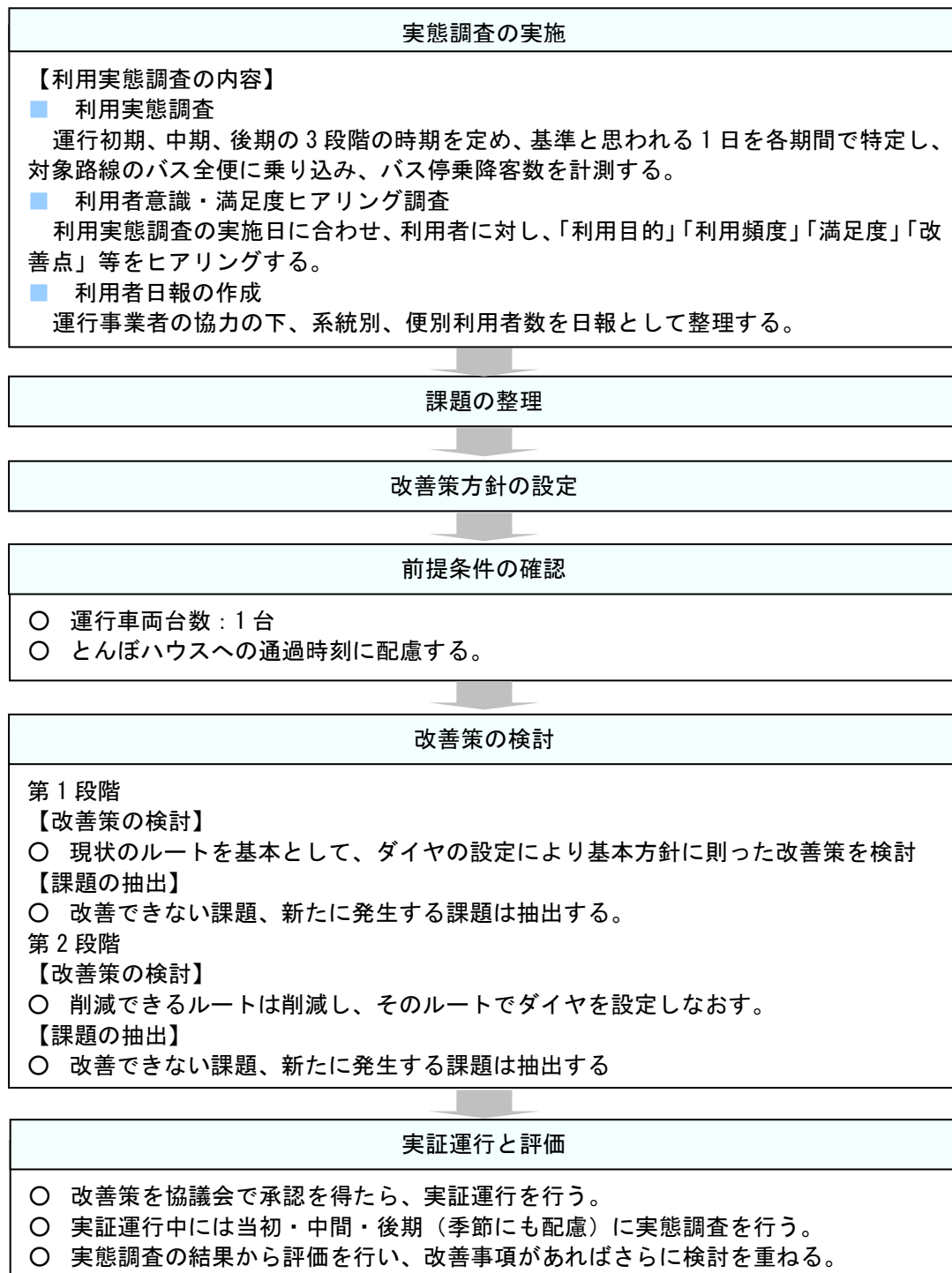
- ☐ 丸子地域循環バス沿線、どこから乗っても丸子中央病院の午前診察時間に間に合う。
- ☐ 具体的には午前 10 時までに丸子中央病院へ着けるダイヤ

2. 午前中に中心市街地と自宅を往復できるダイヤ

- ☐ 午前中診察が終わり、お昼 12 時～13 時台には沿線どこの自宅にも帰宅できるダイヤ。

3. 東コース・西コースにおいて、午前・午後に中心市街地と自宅を便利に往復できるよう、可能な限り 4 便運行できる計画案

③ 改善策の検討実施手順



④ 改善策の具体的検討

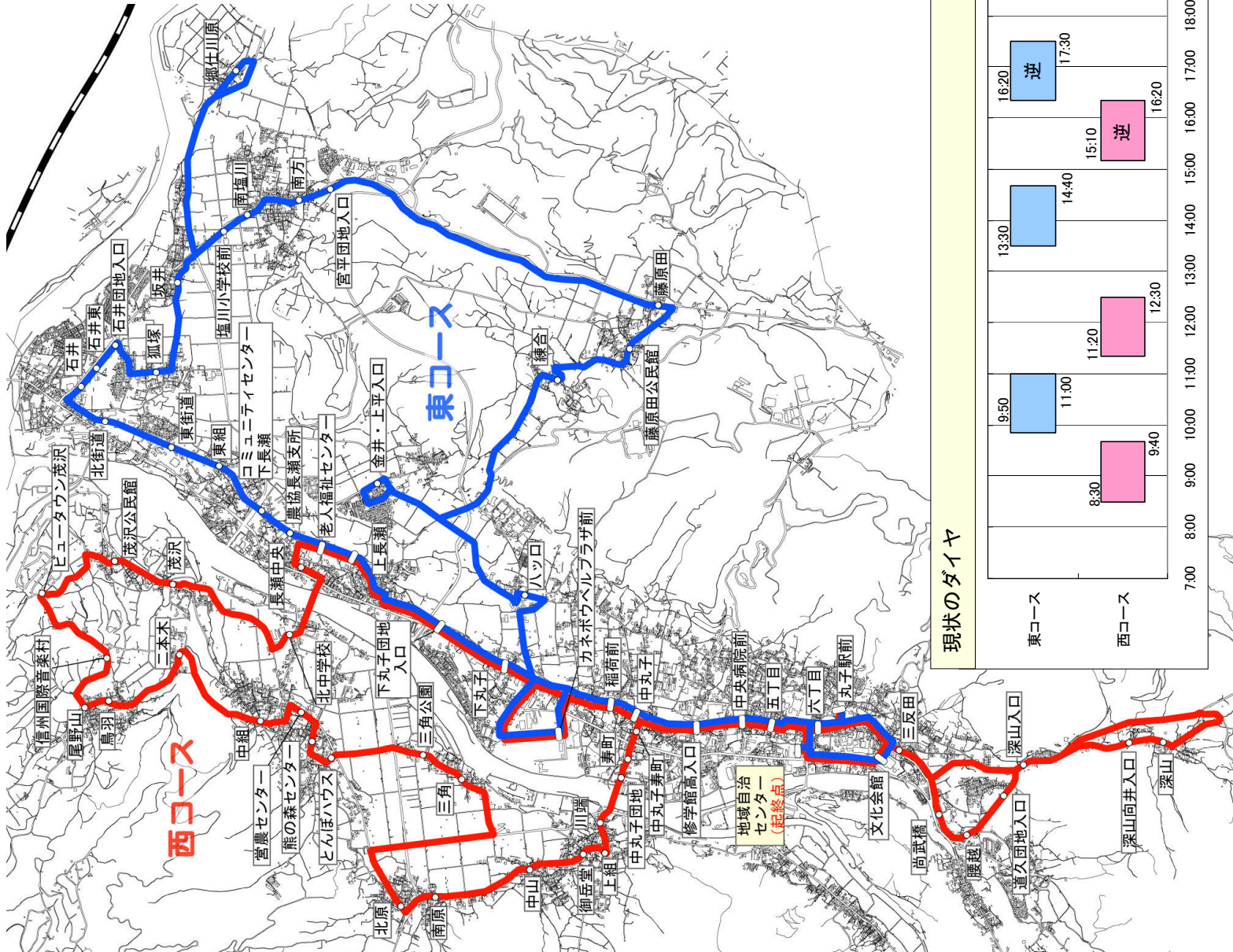
《1 案》

【具体的施策】

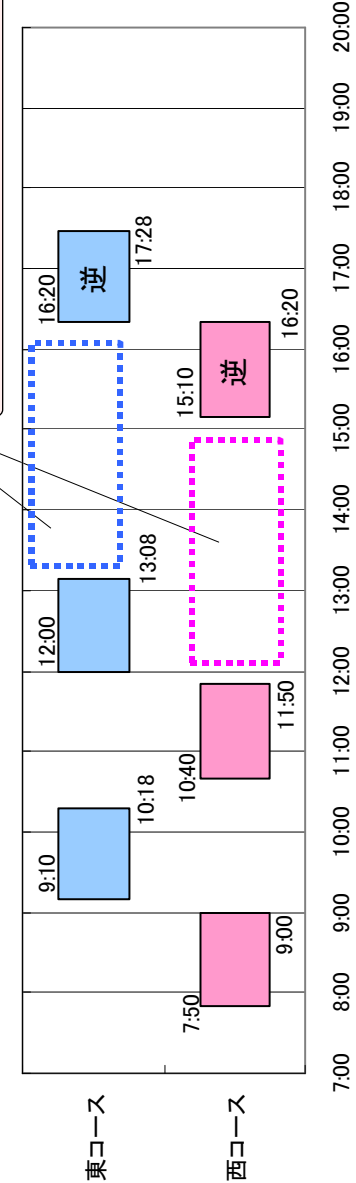
ルートの原則変更しない。

1便目の自治センター発8:30を40分早め、後続便についても適当時分早める

《運行ルート》



《ダイヤ検討案》



【西コースダイヤ】

	1便↓	2便↓	3便↑
丸子自治センター	7:50	10:40	16:20
丸子駅	7:52	10:42	16:18
深山	7:58	10:48	16:12
文化会館	8:04	10:54	16:06
丸子自治センター	8:05	10:55	16:05
中央病院前	8:07	10:57	16:03
カネボウ	8:11	11:01	15:59
南原	8:22	11:12	15:48
三角	8:26	11:16	15:44
とんぼハウス	8:28	11:18	15:42
信州国際音楽村	8:36	11:26	15:34
老人福祉センター	8:47	11:37	15:23
カネボウ	8:51	11:41	15:19
中央病院前	8:55	11:45	15:15
丸子駅前	8:59	11:49	15:11
丸子自治センター	9:00	11:50	15:10

【東コースダイヤ】

	1便↓	2便↓	3便↑
丸子自治センター	9:10	12:00	17:28
文化会館	9:11	12:01	17:27
丸子駅前	9:12	12:02	17:26
中央病院前	9:16	12:06	17:22
カネボウ	9:20	12:10	17:18
上平団地	9:24	12:14	17:14
藤原田	9:34	12:24	17:04
郷仕川原	9:45	12:35	16:53
石井	9:55	12:45	16:43
老人福祉センター	10:02	12:52	16:36
カネボウ	10:07	12:57	16:31
中央病院前	10:11	13:01	16:27
丸子駅前	10:15	13:05	16:23
文化会館	10:17	13:07	16:21
丸子自治センター	10:18	13:08	16:20

《サービスレベルの確認》

【西コース】

パターン	通院	午後
丸子中央病院着1便	8:55	2便 11:45
滞在時間	↓ (2:02)	↓ (3:30)
丸子中央病院発2便	10:57	3便 15:15

【東コース】

パターン	通院	午後
丸子中央病院着1便	10:11	2便 13:01
滞在時間	↓ (1:55)	↓ (3:26)
丸子中央病院発2便	12:06	3便 16:27

【課題と問題点】

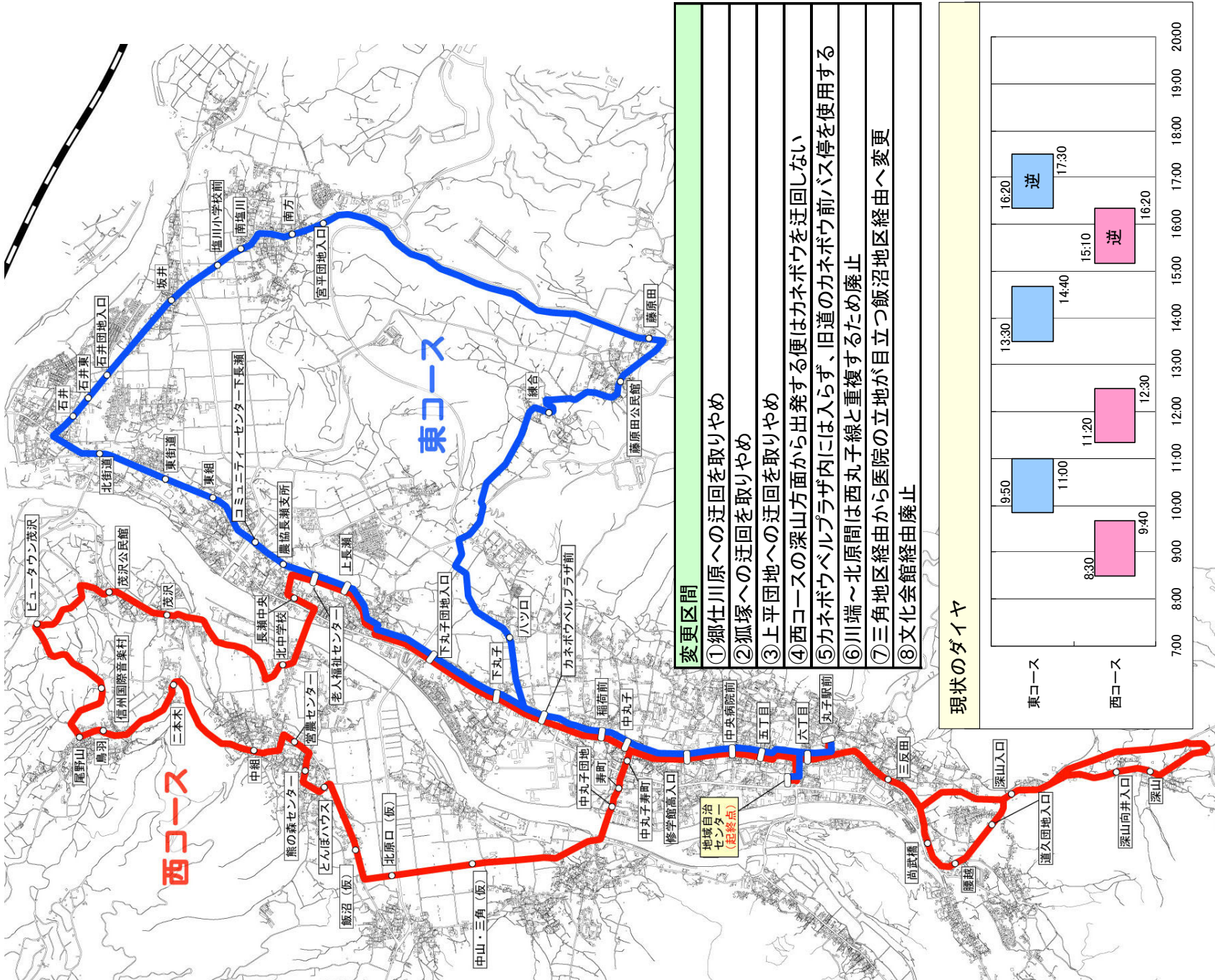
■ 当案だと、昼時に運行間隔が開いてしまう。

《2 案》

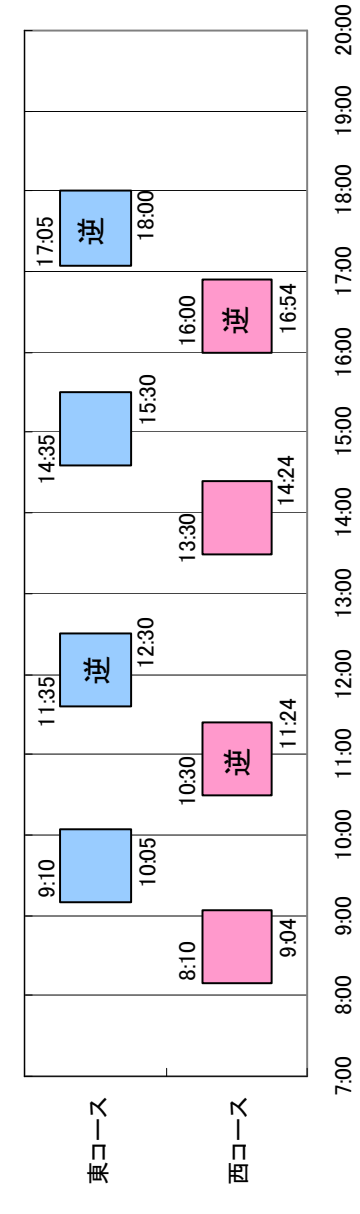
【具体的施策】

過去 3 回の利用実態調査より、利用者数が少ない区間、他路線で丸子中心市街地へ行ける区間はルートとして削除する。

《運行ルート》



《ダイヤ検討案》



【西コースダイヤ】

	1便 ↓	2便 ↑	3便 ↓	4便 ↑
丸子自治センター	8:10	11:24	13:30	16:54
丸子駅	//	//	//	//
深山	8:16	11:18	13:36	16:48
文化会館	//	//	//	//
丸子自治センター	//	//	//	//
丸子駅前	8:22	11:12	13:42	16:42
中央病院前	8:26	11:08	13:46	16:38
カネボウ	//	//	//	//
南原	//	//	//	//
北原口	8:30	11:04	13:50	16:34
とんぼハウス	8:32	11:02	13:52	16:32
信州国際音楽村	8:40	10:54	14:00	16:24
老人福祉センター	8:51	10:43	14:11	16:13
カネボウ	8:55	10:39	14:15	16:09
中央病院前	8:59	10:35	14:19	16:05
丸子駅前	9:03	10:31	14:23	16:01
丸子自治センター	9:04	10:30	14:24	16:00

【東コースダイヤ】

	1便 ↓	2便 ↑	3便 ↓	4便 ↑
丸子自治センター	9:10	12:30	14:35	18:00
文化会館	9:11	12:29	14:36	17:59
丸子駅前	9:12	12:28	14:37	17:58
中央病院前	9:16	12:24	14:41	17:54
カネボウ	9:20	12:20	14:45	17:50
上平団地	9:24	12:16	14:49	17:46
藤原田	9:34	12:06	14:59	17:36
郷仕川原	//	//	//	//
石井	9:42	11:58	15:07	17:28
老人福祉センター	9:49	11:51	15:14	17:21
カネボウ	9:54	11:46	15:19	17:16
中央病院前	9:58	11:42	15:23	17:12
丸子駅前	10:02	11:38	15:27	17:08
文化会館	10:04	11:36	15:29	17:06
丸子自治センター	10:05	11:35	15:30	17:05

※ //は現在は運行しているが、当案では廃止を検討している区間である。

《サービスレベルの確認》

【西コース】

パターン	通院	②	③
丸子中央病院着 1便	8:59	2便 11:08	3便 14:19
滞在時間	(1:36)	↓ (2:38)	↓ (1:46)
丸子中央病院発 2便	10:35	3便 13:46	3便 16:05

【東コース】

パターン	通院	②	③
丸子中央病院着 1便	9:58	2便 12:24	3便 15:23
滞在時間	(1:44)	↓ (2:59)	↓ (1:49)
丸子中央病院発 2便	11:42	3便 15:23	4便 17:12

【課題と問題点】

- 運行時間短縮のため、途中のルートを数箇所削減しているが、地元への説明と理解が必要。
- 最終便が東コース 17:00 台であり、現状または改正前の旧運行時よりも遅い時間帯となる。
- 運行本数、運行拘束時間が延びるため、経費が今より高くなる。

5. 平成 21 年度事業展開

本章では平成 21 年度に事業展開をする各事業について示す。なお、下にその事業メニューを示すが、一部前章で記載している事業があるため、それらについては前章参照とした。

《事業メニュー》

上田市街地循環バス改善方策……………	前章参照
--------------------	------

丸子地域循環バス改善方策……………	前章参照
-------------------	------

オレンジバスの運行ルート変更

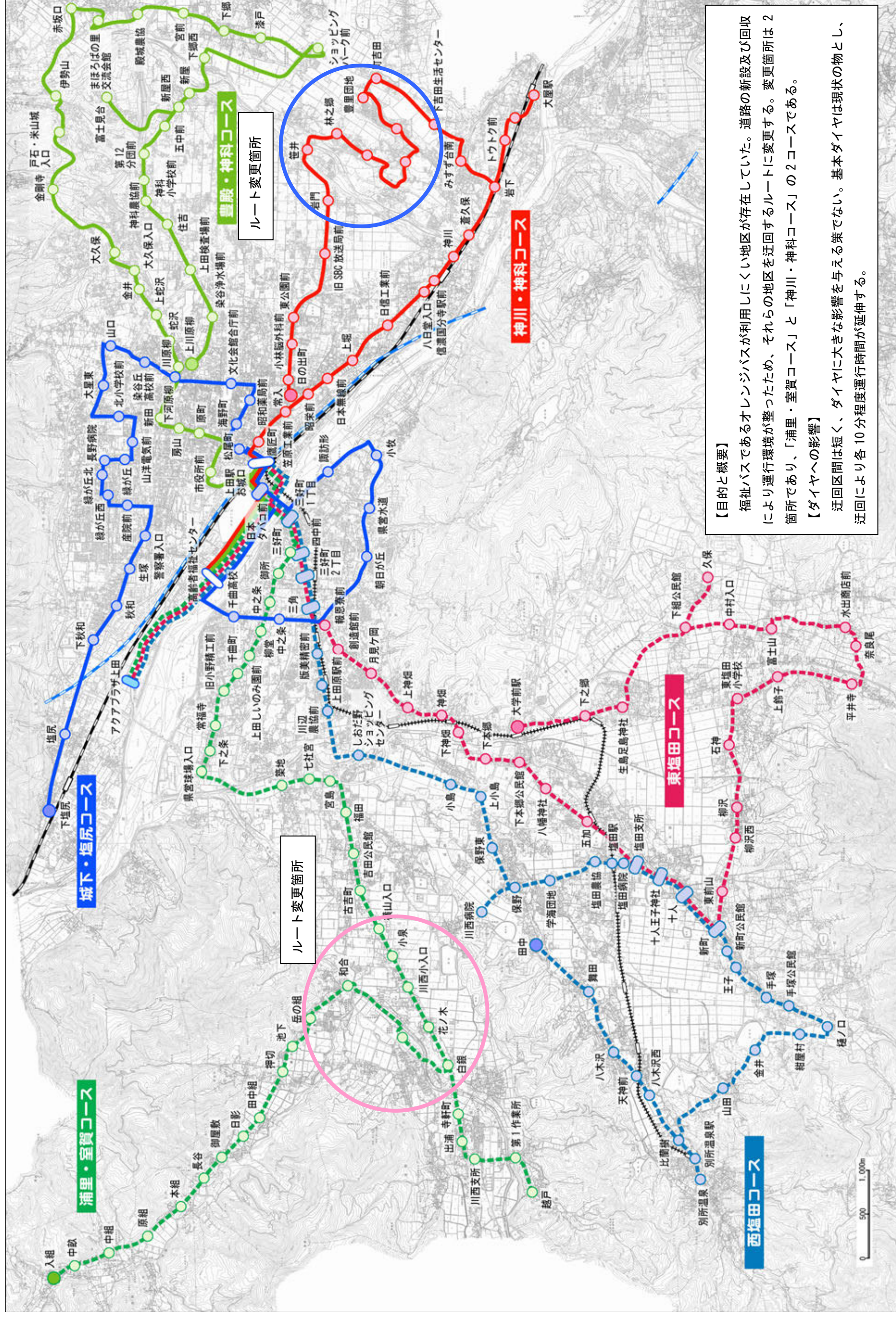
公共交通利用促進策の実施

- | | |
|--------------------------------|------|
| ● 上田市街地循環バスパンフレット作成…………… | 前章参照 |
| ● 上田市街地循環バス回数券または周遊券販売の検討…………… | 前章参照 |
| ● モビリティマネジメントの実施 | |
| ● バス運行継続最低ライン（案）の検討 | |

次頁より上記事業メニューについて、個々に概要を示す。

(1) オレンジバスの運行ルートの変更

《運行路線図》



【目的と概要】
福祉バスであるオレンジバスが利用しにくい地区が存在していた。道路の新設及び回収により運行環境が整ったため、それらの地区を迂回するルートに変更する。変更箇所は2箇所であり、「浦里・室賀コース」と「神川・神科コース」の2コースである。

【ダイヤへの影響】
迂回区間は短く、ダイヤに大きな影響を与えない。基本ダイヤは現状の物とし、迂回により各10分程度運行時間が延伸する。

(2) 公共交通利用促進策の実施

○ モビリティマネジメントの実施

● 目的と概要

《目的》

近年、公共交通利用者の減少が各地で叫ばれている中、個人の意思で公共交通に転換する組織的な取組みが全国各地で実施されている。上田市においても、公共交通を取り巻く環境は厳しい。そこで、公共交通利用促進を目的に、日常生活において、公共交通への転換を促すような取組みを実施していく。

《モビリティマネジメントの考え方》



※ 資料：「別所線における沿線大学等と連携したM. M. 施策の展開プロジェクト推進会議」パンフレットより

(3) バス運行継続最低ライン案の作成

● 目的と概要

《目的》

バス交通は近年全体的に利用者が伸び悩む中、国の「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用し利用促進に繋がる施策を検討してきた。しかし、施策を実行しても、利用が少なければ当然廃止も含めた検討を実施していかなければならない。そこで、運行を継続していくための最低ラインを定め、地域住民に示すことにより、公共交通に対する危機感または関心度の向上を図り、利用促進への繋がりを図ることを目的とする。

運行継続最低ライン（案）

■ 次に示すⅠ～Ⅲの基準に満たない路線を「要検討路線」として設定する。

設定された「要検討路線」の概念：本来一定の利用者があってもしかるべき地域にあって、運行効率が低く、行政負担額の大きい費用対効果の乏しい路線。

基準Ⅰ：当初設定した目標を大きく下回る路線

- 目標は過去の「人口当たり利用者数」に基づいて「ちよっと頑張れば達成可能な目標値」として設定する。
- 「沿線の居住者が年に1回利用する」を絶対的な目標原単位（人口当たり利用者数：1.0）とする。
- 目標値を大幅に下回る路線を要検討路線と判断する。

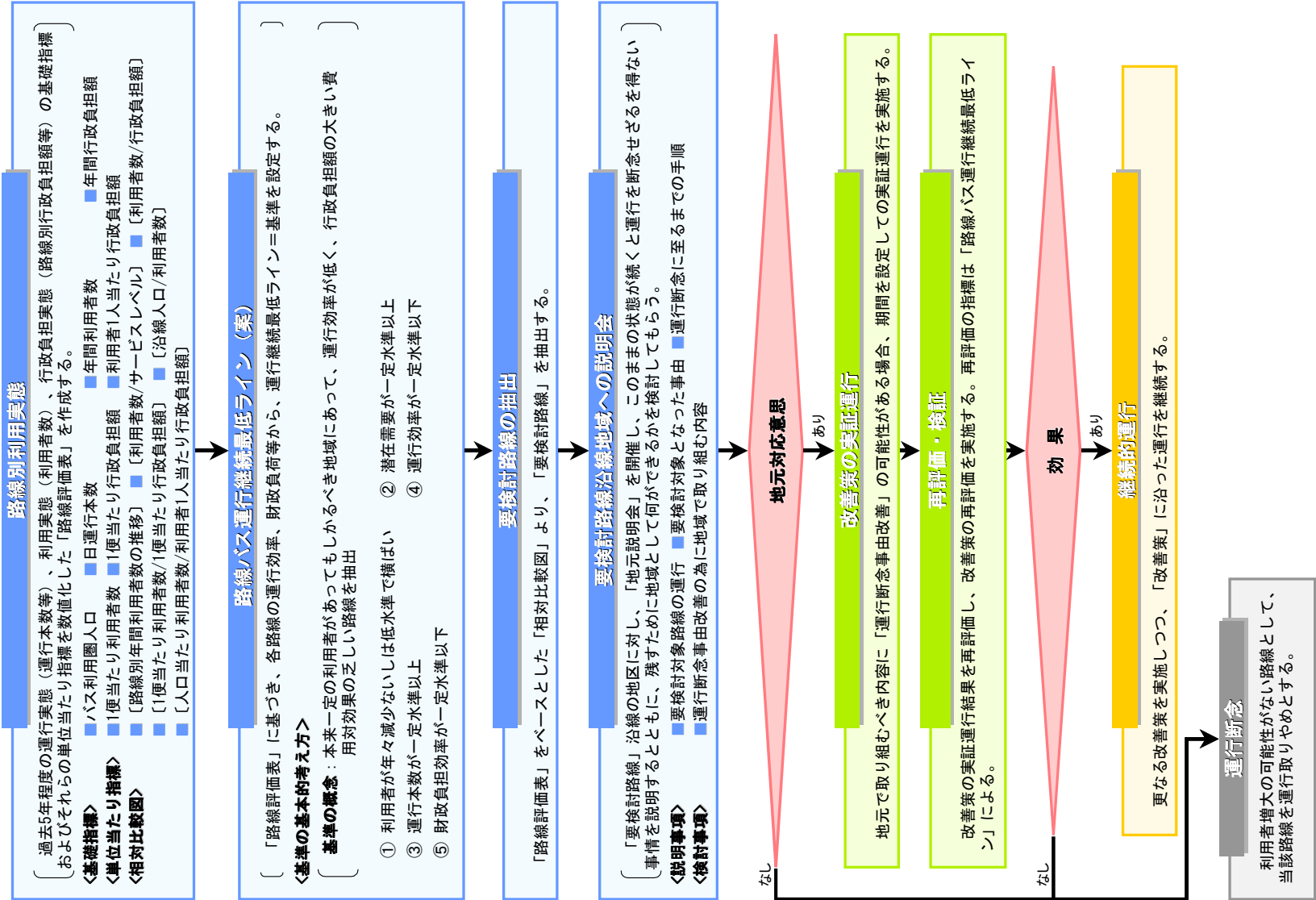
基準Ⅱ：一定の人口集積があり、一定の運行サービスレベルがあるにも関わらず、利用者の少ない路線

- 本来、運行のサービスレベルが一定であり、利用機会が同じであれば、人口集積の大きい地域は利用者が多いはずであるが、必ずしもそういった結果になっておらず、「人口当たり利用者数」が少ない地域（路線）は、「運行の効果」が低いと判断する。

基準Ⅲ：利用効率が低く、行政負担の大きい路線

- 運行の経済性（費用対効果）に着目し、運行効率（1便当たり利用者数）が低く、行政負担（利用者1人当たり行政負担額）の大きい路線を運行効果の低い路線と判断する。

要検討路線の検討手順



6. 事業実施総括表

	施策の内容	備考
平成20年度実施事業	■基本サービスレベルを満たすようなダイヤ変更または増便	ダイヤ改正時に考慮
	■しなの鉄道との接続に配慮したダイヤ変更	
	■上田市街地循環バス運行方法変更による実証運行	実証運行は平成23年度まで予定
	■丸子地域循環バス運行方法変更による実証運行	実証運行は平成23年度まで予定
	■武石デマンド交通の予約エリア拡大と武石線屋間便のデマンド交通への意向	
	■地域自主運行バスに対する行政支援制度の創設	
	■両循環バスのパンフレット作成と各戸配布	
	■交通結節点における大型案内板の設置及びバスマップの全戸配布	
	■上田電鉄別所線の車両ラッピング	平成20年度で事業完了
	■上田市街地循環バスの改善方策実施と実証運行継続	
平成21年度実施予定事業	■丸子地域循環バス改善方策による実証運行継続	
	■オレンジバスの運行ルート変更	
	■行動パターン別の循環バス利用パターンパンフレット作成と配布	
	■上田市街地循環バス回数券または周遊券販売の検討	
今後の実施予定事業	■モビリティマネジメントの実施検討	
	■浅間サンライン線の具体的運行	
	■真田地域循環バスの実現（ふれあいバスの循環バス化）	